

令和元年度 事業報告書 決算書



春の訪れ福寿草 R2.3.9
(大町市美麻 新行 福寿草園)



社会福祉法人 大町市社会福祉協議会

令和元年度 事業報告書

だいじょうぶ そっとささやく 思いやり

(大町北小学校 4 年 丸山 昊輝さん)

令和元年度 福祉啓発標語 最優秀作品

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会

目次

■ 主な会議・行事等(P1)

■ 寄付採納(P5)

■ 主要事業の実績

I 地域福祉推進基盤の強化

1. 法人運営基盤の強化(P6)

- (1) 法人運営事業
- (2) 資産管理・退職共済・処遇改善事業
- (3) 災害時支援体制の強化

2. 地域福祉活動の財源確保(P11)

- (1) 会員組織強化事業
- (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

3. 公益事業の推進(P14)

II お互いさまのまちづくり

1. 地域における支え合い活動の推進 (P17)

- (1) 地域ふれあい交流事業
- (2) 住民支え合いマップ事業
- (3) 小地域福祉ネットワーク事業
- (4) 地区社協事業
- (5) 市民ふれあい広場の開催

2. ボランティア活動の推進(P20)

- (1) ボランティアセンター運営事業
- (2) 有償ボランティア事業

III 安心して暮らせるまちづくり

1. 生活支援活動の推進(P23)

- (1) 心配ごと相談事業
- (2) 福祉輸送サービス事業
- (3) 日常生活自立支援事業
- (4) 成年後見支援センター事業
- (5) 豊かな暮らし応援事業

2. 高齢者福祉活動の推進(P29)

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 訪問介護事業
- (3) 訪問入浴介護事業
- (4) 通所介護事業
- 【1】デイサービスセンターひなたぼっこ
- 【2】デイサービスセンターこすもす

【3】デイサービスセンターみさか

【4】デイサービスセンターみあさ

3. 障がい者福祉の推進(P34)

- (1) 障がい理解促進事業
- (2) 障がい者余暇活動支援事業
- (3) 障がい者就労支援事業
- (4) 地域生活支援事業
- 【1】障害福祉サービス計画支援事業
- 【2】大北圏域障害者相談支援事業
- 【3】発達障がいサポート・マネージャー事業
- 【4】障害者地域活動支援センター事業
- 【5】障がい者等生活支援事業
- ① 移動支援サービス
- ② 日中一時支援事業
- (5) 障がい福祉サービス事業
- 【1】障がい者居宅介護事業
- 【2】多機能型障害福祉サービス事業

4. 子育て支援活動の推進(P42)

- (1) 子育て応援ネットワーク事業
- (2) 育児支援ヘルパー派遣事業
- (3) 療育支援事業

5. 経済的支援活動の推進(P44)

- (1) 生活困窮者等自立支援事業
- (2) 家計相談支援事業
- (3) 資金貸付事業
- (4) 災害見舞金等支給事業

IV 受け継がれるまちづくり

1. 地域における福祉意識の啓発 ..(P47)

- (1) 福祉情報発信事業
- (2) 地域福祉意識啓発事業

2. 地域の担い手育成(P49)

- (1) 福祉教育推進事業
- (2) 生活支援体制整備推進事業

3. 地域福祉活動団体の育成(P50)

- (1) 企業ボランティア育成事業
- (2) 地域福祉活動団体育成事業

■ 主な会議・行事等

期 日	内 容	会 場
4月1日	辞令交付式（会長）	総合福祉センター
8日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
9日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
10日	囲碁「第57期十段戦第3局」前夜祭（会長）	くろよんロイヤルホテル
11日	市定住促進協働会議総会（柳澤副会長）	市役所
17日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
19日	市町村社協事務局長会議（常務理事） 社協歓送迎会（正副会長・常務理事）	浅間温泉文化センター 明日香荘
22日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
26日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
5月5日	大町ソフトボールリーグ戦開幕戦（会長）	大町運動公園野球場
7日	生涯現役相談センター開所式（会長）	北アルプスエントランス
9日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
10日	市人権教育推進協議会総会及び研修会（柳澤副会長）	市役所
13日	心配ごと・司法書士相談 北アルプス国際芸術祭実行委員会 2018 年度総会	総合福祉センター 市役所
14日	大北地区障がい者運動会実行委員会（常務理事）	大町合庁
15日	福祉車両寄贈感謝式（会長・常務理事）	池田町役場
16日	市総合戦略推進委員会（南澤副会長）	市役所
17日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会総会・研修会（会長）	平公民館
21日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
23日	大北社会福祉事業協会理事会（会長）	北アルプス市町村会館
24日	市民ふれあい広場第1回幹事会（会長）	総合福祉センター
27日	民児協研修視察旅行～29日（常務理事） 心配ごと相談・司法書士相談	東北方面 総合福祉センター
29日	大北社会福祉事業協会評議員会（会長）	大町商工会議所
30日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
6月21日	市社会福祉協議会理事会（正副会長） 三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター 〃
24日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
25日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
26日	県地域福祉活動計画策定に向けたヒアリング（会長）	総合福祉センター
27日	市総合戦略推進委員会（南澤副会長）	市役所
28日	市文化会館運営委員会（会長） 県将来世代応援県民会議（常務理事）	総合福祉センター 大町合庁
30日	常盤地区敬老会（会長）	アプロード
7月1日	正副会長就任式（正副会長） 管内あいさつまわり（正副会長・常務理事）	総合福祉センター 市役所、合庁、広域ほか
2日	市青少年育成市民会議第1回総務部会（会長） 市青少年育成市民会議常任理事会（会長） 市青少年育成市民会議理事会（会長） 大北ブロック事務局長会議（常務理事）	市役所 〃 〃 小谷村福祉センター
3日	八坂地区スポーツ大会（会長）	八坂小学校

期 日	内 容	会 場
3日	市少子化社会における義務教育のあり方検討委員会（会長）	市役所
5日	市要保護児童対策地域協議会（会長）	市役所
6日	市暴力追放・交通安全推進市民大会（常務理事）	サン・アルプス大町
8日	県青少年育成指導者・青少年サポーター研修会（会長） 市行政改革推進委員会（会長） 大北地域包括医療協議会（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	飯山市文化交流会 市役所 大北医師会館 総合福祉センター
9日	県身体障害者福祉協会理事長来所（会長）	総合福祉センター
10日	県福祉懇談会（会長）	ホテル信濃路
11日	市民ふれあい広場実行委員会（会長・常務理事）	総合福祉センター
18日	人権を考える市民の集い（海川副会長） 経営研修会（正副会長・常務理事）	仁科台中学校 総合福祉センター
19日	社地区敬老会（会長）	立山プリンスホテル
22日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
23日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
31日	6地区社協連絡会（会長） 産業医職場巡視（常務理事）	総合福祉センター 八坂総合福祉センター
8月1日	市老人クラブ大会（会長）	サン・アルプス大町
3日	大町やまびこまつり（会長・海川副会長・常務理事）	本通り
5日	市健康づくり推進委員会（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	市中央保健センター 総合福祉センター
6日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
7日	鹿島荘納涼祭（会長）	鹿島荘
15日	市成人式（会長）	大町市文化会館
19日	心配ごと・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
21日	産業医職場巡視（常務理事）	美麻総合福祉センター
24日	みあさふれあいまつり（会長） 平地区敬老会（会長） 市青少年育成市民大会（会長）	美麻総合福祉センター 平公民館 サン・アルプス大町
26日	所属長会議（常務理事） 市ボランティアセンター運営員会（常務理事）	総合福祉センター 〃
27日	社会福祉協議会トップセミナー（正副会長・常務理事）	塩尻市文化会館
29日	県身体障害者福祉大会（会長）	市文化会館
9月2日	県人権教育リーダー研修会（海川副会長）	県総合教育センター
6日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
9日	市都市計画審議会（会長） 心配ごと・司法書士相談（常務理事）	市役所 総合福祉センター
12日	人権を考える市民の集い（海川副会長）	美麻小中学校
13日	美麻地区敬老会（会長）	ぽかぽかランド美麻
16日	大町地区敬老会（会長）	大町市文化会館
18日	産業医職場巡視（常務理事）	デイひなたぼっこ
19日	大北圏域事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
20日	長野県社会福祉大会（正副会長）	駒ヶ根市文化会館
25日	市民生委員推薦会（会長） 八坂地区敬老会（会長）	市役所 明日香荘

期 日	内 容	会 場
26日	市民ふれあい広場実行委員会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
30日	同和教育研究大会（海川副会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	県総合教育センター 総合福祉センター
10月1日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
2日	市子ども・子育て審議会（会長）	市役所
3日	障がい児・者希望の旅事業（会長）	群馬サファリパーク
7日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
8日	大町アルプスマラソン実行委員会（会長）	市役所
11日	人権を考える市民の集い（海川副会長）	大町南小学校
15日	市民生委員推薦会（会長）	市役所
16日	産業医職場巡視（常務理事）	総合福祉センター
17日	市老人体育祭（会長）	大町運動公園
20日	大町アルプスマラソン開会宣言式（会長）	大町運動公園
21日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
29日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
30日	大北圏域事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
11月2日	県青少年健全育成県民大会（会長）	東御市文化会館
5日	令和2年度補助受託事業予算ヒアリング（正副会長・常務理事） 三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター //
6日	少子化社会における義務教育のあり方検討委員会（会長）	市役所
7日	人権を考える市民の集い（海川副会長）	大町東小学校
8日	市子ども・子育て審議会（会長）	市役所
11日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
12日	柏市心身障害者福祉連絡協議会施設見学（常務理事） 健康づくり推進委員会（会長）	総合福祉センター 市中央保健センター
13日	学校人権教育公開授業・懇談会（海川副会長）	仁科台中学校
15日	市民ふれあい広場幹事会（正副会長）	総合福祉センター
18日	市総合計画審議会（南澤副会長）	市役所
20日	市戦没者追悼式（会長） 市社会福祉審議会（会長） 産業医職場巡視（常務理事） 年金委員・健康保険委員研修会（常務理事）	市公民館分室 市役所 八坂総合福祉センター 松本市中央公民館
21日	中信社会福祉協会評議員会（会長）	松本市梓川支所
25日	難病支援関係者研修会（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	大町合庁 総合福祉センター
26日	所属長会議（常務理事） ミニふれあい広場実行委員会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター //
27日	市都市計画審議会（会長）	市役所
29日	市民生児童委員協議会全体会（会長・常務理事）	景水
30日	住民公開講演会（会長・常務理事）	JA 大北会館アブロード
12月2日	人権・同和教育推進懇談会事業研修会（海川副会長） 松本糸魚川連絡道路説明会（常務理事）	常盤公民館 大町合庁
3日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
22日	ミニふれあい広場（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
23日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
23日	市子ども・子育て審議会（会長）	市役所

期 日	内 容	会 場
25日	県部落解放研究集会（海川副会長）	須坂市メセナホール
26日	市少子化社会における義務教育のあり方検討委員会（会長）	市役所
27日	仕事納め式（会長）	総合福祉センター
1月6日	仕事始め式・職員表彰（会長）	総合福祉センター
10日	令和2年度予算ヒアリング（正副会長） 大系タイムス新春賀詞交換会（会長・南澤副会長）	総合福祉センター 黒部観光ホテル
13日	折弁カラオケグランドチャンピオン大会（会長）	市文化会館
14日	北アルプス国際芸術祭実行委員会食部会（会長） 市社会福祉審議会（会長）	市役所 市役所
17日	市子ども・子育て審議会（会長）	市役所
20日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
22日	市少子化社会における義務教育のあり方検討委員会（会長）	市役所
28日	ライオンズクラブ新年懇親例会（会長）	黒部ビューホテル
29日	産業医職場巡視（常務理事）	デイひなたぼっこ
2月1日	令和元年度大町市社会福祉大会（正副会長）	サン・アルプス大町
3日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
4日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
5日	大町アルプスマラソン実行委員会（会長）	市役所
12日	産業医職場巡視（常務理事） 市健康づくり推進委員会（市自殺対策計画答申）（会長）	総合福祉センター 市役所
13日	市青少年育成市民会議常任委員会（会長）	市役所
14日	市民生児童委員協議会全体会及び新年会（会長）	市役所・ほかほかランド
17日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
21日	市都市計画審議会（会長） オリンピック・パラリンピック聖火リレー市実行委員会（会長）	市役所 市役所
24日	県護国神社評議員会（会長）	県護国神社
26日	市町村共同募金会委員会事務局長会議	県自治会館
3月2日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
4日	共同募金会審査委員会（会長）	総合福祉センター
9日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
13日	大町市子ども子育て審議会（会長）	市役所
23日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
27日	大町市生涯現役促進地或連携協議総会（会長）	市役所



ミニふれあい広場（12/22）
市総合福祉センターエントランスホールほか

■ 寄付採納

① 寄付者一覧（寄付金）

寄せられた寄付金は、ボランティア基金に積立て、ボランティアセンター運営委員会で用途を協議のうえ取崩し、寄付者の意向を尊重しながら有効活用を図っています。

期 日	寄付者（敬称略）	金額（円）
5月 7日	大町ソフトボール連盟	45,600
5月10日	匿名	10,000
8月28日	匿名	10,000
10月 1日	大町市元市議会議員の会	50,000
10月 8日	匿名	3,630
10月18日	よってって鮎貝	4,819
11月18日	匿名	10,000
12月 3日	匿名	10,000
12月20日	大町市老人クラブ連合会	50,000
12月25日	大町市婦人会	6,070
12月26日	昭和電工ユニオン	67,424
1月15日	88 ボランティア	10,000
3月 3日	昭和電工(株)大町事業所	100,000
3月 4日	北アルプス青年会議所シニアクラブ	30,000
	日本禁煙友愛会大町支部	14,000
合 計		421,543

② 寄付者一覧（物品）

寄付物品は本会の事業で活用したほか、食品や消耗品は管内の福祉施設に配布しました。

期 日	寄付者（敬称略）	物 品（数量等）
5月 9日	大北地区中央メーデー実行委員会	缶詰、インスタント麺他 85 点
5月13日	横澤正宏	ロックミシン1台 電動ミシン 1台
5月20日	匿名	子ども用バギー1台 リクライニング車いす1台
6月 4日	恩田豊	ソファベッド1台
7月16日	全国都市緑化信州フェア実行委員会	車いす 5台
9月10日	匿名	血圧計 1 聴診器 1
9月13日	匿名	電気ポット 3 紙おむつ、衣服ほか
10月 2日	金原健次	米 3 袋
10月 3日	川面麻美	食品（コーヒー、漬物、つくだ煮）
10月 7日	古畑佐富	米 60 kg
11月11日	地域活動活性化資金運用委員会	レトルト食品ほか 80 点
11月18日	大町商工会議所女性部	米、レトルト食品ほか 397 点
11月19日	匿名	毛糸多数
11月27日	匿名	玄米 30 kg 2 袋
12月 2日	降旗章（弥満一農園）	りんご 20 箱
12月10日	信光実業(株)大町支店	カレンダー 29 本
12月21日	北沢学	門松 1 対
12月25日	大町市婦人会	お手玉多数、使用済み切手・はがき、パルマク、ロタス・ボン

■ 主要事業の実績

I 地域福祉推進基盤の強化

地域で活躍する関係者の参加と協働の下、法人運営基盤の強化、地域福祉活動の財源確保、災害時支援体制の強化、生活課題の調査・研究、公益事業の推進に取り組み、地域福祉推進基盤の強化に努めました。

1. 法人運営基盤の強化

地域福祉を推進する中核組織として、安定した法人運営に努めるとともに、各積立金を活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備等に努めました。

(1) 法人運営事業

社会福祉法人制度改革に適切に対応しながら、経営管理・内部統制・苦情解決機能の強化に取り組みました。

項 目	実施結果・内容
地域社会の情勢に応じた会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月第2火曜日を基本に三役会を開催 ○ 毎月第4火曜日を基本に所属長会議を開催 ○ 理事会を5回、評議員会を1回、書面議決による評議員会を1回開催 (詳細別記) ○ 評議員選任・解任委員会を1回、書面議決を1回開催
経営管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月の所属長会議内で経営戦略会議を開催し、経営状況を把握 ○ 税理士による経営研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 7月18日 三役・監事・所属長45名参加 ○ 消費税改正に伴う事務処理研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 9月24日 全会計職員対象
内部統制機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期監査を実施(詳細別記) ○ 毎月の所属長会議内で安全衛生委員会を開催(詳細別記) ○ 事業報告・決算書、事業計画・予算書をホームページで公開 ○ 個人情報・特定個人情報保護規程に基づき、情報管理を徹底
働きやすい魅力的な労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無期契約転換申出への対応 <ul style="list-style-type: none"> 指定様式を作成、所属長会議等へ周知の上希望者への対応を実施 ○ 働き方関連法への対応 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 所属長に対する関連法に関する周知 ◆ 有給休暇取得状況の共有(半期ごと所属長へ公開) ◆ 各就業規則の見直しと改正(社会保険労務士指導による) ○ 福祉人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住・定住及び福祉人材の確保に向けた首都圏でのイベント参加 ・銀座NAGANO 1月13日 ◆ 企業説明会への参加(市生涯現役促進地域協議会 主催)
大北地域内の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大北ブロック社協事務局長会議を開催 7月2日 ○ 大北圏域の事業者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大北圏域介護保険事業者連絡協議会の事務局運営 ◆ 大北保健福祉圏域自立支援協議会の事務局運営

● 理事会の開催状況

回数	期 日	内 容	
第1回	6月7日	議案	第1号 平成30年度事業報告について 第2号 平成30年度決算について 第3号 令和元年度第1次補正予算について 第4号 評議員候補者の推薦について 第5号 評議員選任・解任委員会の招集について 第6号 平成30年度第1回評議員会の招集及び議題について 第7号 次期役員候補者について
第2回	6月21日	議案	第8号 会長・副会長及び常務理事の選任について 第9号 評議員選任・解任委員の選任について 第10号 顧問の委嘱について
		報告	評議員選任・解任委員会の結果について
		協議	部会委員の委嘱について
第3回	9月18日	議案	第11号 小口資金貸付金欠損処分について
		報告	令和元年度第1四半期事業運営状況報告について
		協議	デイサービスセンターこすもす特殊浴槽更新について
第4回	12月12日	議案	第12号 令和元年度第2次補正予算の専決処分について
		報告	令和元年度第2四半期事業運営状況報告について
		協議	令和元年度社会福祉功労者表彰の選考について
第5回	3月17日	議案	第13号 令和元年度第3次補正予算について 第14号 令和2年度事業計画について 第15号 令和2年度予算について 第16号 正規職員就業規則の一部改正について 第17号 嘱託及び臨時職員就業規則の一部改正について 第18号 非常勤職員就業規則の一部改正について 第19号 評議員候補者の推薦について 第20号 評議員選任・解任委員会の招集について 第21号 令和元年度第2回評議員会の招集及び議題について
		報告	令和元年度第3四半期事業運営状況報告について

● 評議員会の開催状況

回数	期 日	内 容	
第1回	6月21日	議案	第1号 平成30年度事業報告について 第2号 平成30年度決算について 第3号 令和元年度第1次補正予算について 第4号 理事及び監事の選任について
第2回	3月30日 【書面決議】	議案	第5号 令和元年度第2次補正予算専決処分について 第6号 令和元年度第3次補正予算について 第7号 令和2年度事業計画について 第8号 令和2年度予算について 第9号 理事の選任について

● 定期監査の実施状況

項目	実施日
平成30年度決算監査	5月28日
令和元年度中間監査	10月31日

● 安全衛生委員会の開催状況

期 日	内 容
4月26日	H30安全衛生管理体制、職員定期健康診断
5月21日	産業医職場巡視の計画、職員定期健康診断日程決定
6月25日	産業医の職場巡視、安全衛生委員会総会
7月3日（総会）	H30事業報告、R1事業計画
7月23日	夏の交通安全運動、職場事故報告、電気使用安全月間について
8月26日	産業医の職場巡視、職員定期健康診断
9月24日	秋の全国交通安全運動
10月29日	安全運転管理者法定講習復命、県自転車条例について、ストレスチェック
11月26日	年末の交通安全運動、交通事故等報告、積雪・凍結転倒災害防止
12月24日	ストレスチェックの結果について
1月28日	健康診断実施状況報告
2月27日	新型コロナウイルス感染症対策について
3月24日	新型コロナウイルス感染症対策について、春の交通安全運動 小学校等休校による特別休暇について、生活福祉資金貸付制度特例貸付

【評価と展望】

- 昨年に引き続き、三役・監事・所属長を対象とした経営研修会を開催し、財務諸表の見方や活用方法等について顧問税理士に解説していただき、経営意識の向上を図った。
- 消費税率改正に伴い、全部所会計職員を対象とした経理事務研修を実施し適切な会計処理に務めた。
- 働き方改革関連法施行に向け、社会保険労務士と相談の上、まずは現就業規則の見直しから始め、各規則の改正を行った。次年度更に検討を進め、内容を精査していく。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、所属長会議の折に情報を共有し、各事業所の対応について話し合いを行い、感染予防と各サービス事業の継続を図った。

友だちは さびしい時も よこにいる

（大町南小学校3年 岡江 健一さん）

令和元年度 福祉啓発標語 最優秀作品

(2) 資産管理・退職共済・処遇改善事業

各積立金を有効活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備、地域福祉・生活支援活動の財源確保に努めました。

項 目	実施結果・内容
福祉人材の確保 (人件費等積立金取崩：27,162千円)	○ 役職員研修の実施(詳細別記) …充当額 136千円 ○ 役職員福利厚生事業の実施(内訳別記) …充当額 2,512千円 ○ 非正規職員の処遇改善補填(詳細別記) …充当額 3,405千円 ○ 正規職員の退職共済掛金補填 …充当額 3,206千円 ○ 介護保険・障害福祉サービス事業人件費補填…充当額17,903千円
計画的な設備整備 (施設整備等積立金取崩：35,221千円)	○ PC、システム更新補填額 …充当額17,656千円 ○ 特殊浴槽更新財源補填 …充当額12,100千円 ○ 設備修繕及びリース料金等 …充当額 5,465千円
地域福祉・生活支援活動の財源確保 (地域福祉活動費積立金取崩：12,214千円)	○ ボランティアセンター運営事業財源不足補填 …充当額3,020千円 ○ 日常生活自立支援事業財源不足補填 …充当額 956千円 ○ 生活困窮者自立支援事業財源不足補填 …充当額1,403千円 ○ 成年後見支援センター事業財源不足補填 …充当額6,835千円

● 役職員研修の実施状況

期 日	内 容	会 場
5月15日～17日 7月17日～19日	令和元年度介護支援専門員更新研修(介護保険1人)	松本勤労者福祉センター 浅間温泉文化センター
7月2日・12日 16日・23日	行動援護(強度)従事者養成研修(障害福祉1人)	塩尻市総合文化センター
7月5日 9月3日	地域福祉コーディネーター総合研修(総務企画1人)	浅間温泉みやま荘 諏訪湖ハイツ
7月12日	令和元年度信州くらしの支え合いネットワーク全体会 (総務企画1人)	塩尻市総合文化センター
7月29日	長野県経営協セミナー(総務企画1人)	長野市若里市民ホール
9月7日	介護技術スキルアップ講座(介護保険1人)	大町病院
10月17日～18日 11月15日	福祉職員生涯研修(介護保険1人)	浅間温泉みやま荘
11月19日	食品衛生責任者養成講習会(障害福祉1人)	サン・アルプス大町

● 役職員福利厚生事業費の内訳

(単位：千円)

産業医	健康診断	ストレスチェック	予防接種	制服貸与	共済会補助	慶弔見舞他
300	938	93	367	364	252	198

● 定期健康診断等の実施状況

実施方法	個別健診	集団健診	ストレスチェック
対 象 者	35歳以上で健康保険に加入している職員	週労働時間20時間以上で、個別健診の対象とならない職員	所定労働時間が週平均20時間以上の職員
期 日	10月～3月の指定日	7/30	11月
実施場所	市立大町総合病院	総合福祉センター	市立大町総合病院
受診者数	96人	22人	123人

● 産業医の職場巡視の実績

事業場	総合福祉センター	八坂総合福祉センター	美麻総合福祉センター	デイサービスセンター ひなたぼっこ
期 日	10/16・2/12	7/31・11/20	8/21・12/11	9/18・1/29

● 勤続手当・処遇改善手当の支給実績

名 称	勤続手当	処遇改善手当
算定方法	4月1日現在の勤続年数に応じた月額 (1年：250円、2年：500円、3年：1,000円、以後1年につき1,000円ずつ加算、最高8,000円)	介護報酬及び自立支援給付費の半期ごとの処遇改善加算額を、対象職員の労働時間に応じて配分 介護職員：6月166円・12月149円/時 その他職員：6月42円・12月38円/時
支給対象者	勤続1年以上の嘱託・臨時・非常勤職員	嘱託・臨時・非常勤・登録職員
支給時期	毎 月	6月・12月
支給実績	3,186,490円	16,621,884円

【評価と展望】

- 本年当初より計画していた Windows 7 サポート終了に伴う、業務 PC 及び各システムの更新を実施するとともに、緊急的であったが、デイサービスこすもす特殊浴槽の更新を実施。単発であるが多額の設備整備となり更に計画的な運用の検討が必要。
- 産業医の職場巡視や職員の定期健康診断、ストレスチェックを定期的に実施し、日常からの職員の健康管理や職場環境の整備に努めた。また、健康診断対象者をデイサービス等の登録運転手にも拡大し、安全衛生に努めた。
- 積極的に内外研修に参加することで、職員研修の充実を図った。

(3) 災害時支援体制の強化

市内における団体連携を考えるとともに、意識啓発として新たな住民向け講座の開設し、住民相互の協力体制を強化するとともに、県内での支援体制についても強化することができました。

項 目	実施結果・内容
災害時職員初動マニュアルに基づく参集訓練	大田市地震総合防災訓練に合わせ、マニュアルに基づく訓練を実施し、また研修会を開催 ○実施日 8月31日 ○対象者 所属長並びに正規職員 ○内 容 ①参集訓練 初動マニュアルに基づく参集訓練 ②職員安否確認訓練 本年導入した『ビジエネ連絡網』を活用した、一斉送信メールによる安否確認 ②災害時の社協役割について内部研修
災害ボランティアセンター運営支援	○台風19号おける、被災地災害ボランティアセンターへの職員派遣 ◆DSAT派遣 …小布施町(10/16～18日 1名) ◆ブロック社協派遣 …須坂市及び長野市(10/20～12/8 延32名) ◆スポット派遣 …長野市(10/21～12/10 延14名) ◆災害ボランティアバス …長野市(12/13 ボランティア10名、職員4名) ○セミナーへの参加 ◆台風19号災害支援のこれからを考える振り返りセミナー 1月18日 長沼農産物直売所「アグリながぬま」(1名参加)

項 目	実施結果・内容
災害サポーター養成講座	<p>地域防災の大切さについて、理解者を増やすことを目的に災害サポーター養成講座を開設。地域からの要請により職員派遣</p> <p>○開催日及び開催地区等</p> <p>◆4/27 市女性団体連絡協議会（40名）</p> <p>◆5/13 市食生活改善推進協議会（50名）</p> <p>◆5/26 須沼自治会（40名）</p> <p>◆8/24 大新田町自治会（30名）</p> <p>◆10/20 上ー自治会（50名）</p>

● 義援金の募集・送金状況

募集期間	当年度送金額 (円)	義援金の内容
H28.4.15～R3.3.31	4,704	熊本県地震災害義援金
H30.9.12～R2.3.31	3,100	平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
R1.9.2～R2.2.28	3,237	令和元年8月豪雨災害義援金
R1.9.18～R1.12.30	8,263	令和元年台風15号千葉県災害義援金
R1.10.16～R2.3.31	291,605	令和元年台風19号災害義援金
継続募集中～R3.3.31	4,161	東日本大震災義援金
合 計	315,070	

【評価と展望】

- 職員招集訓練については、年1回ではあるが、継続し行うことにより、社協職員として災害時の対応について意識が育ってきている。
- 県内の災害により多くの災害ボランティアセンターが立ち上がり、その運営支援に多くの職員が関わったことにより、災害ボランティアセンターの運営手順や課題を共有することにつながった。
- 災害時に備えた事業継続計画（BCP）の具体的作成が必要。

2. 地域福祉活動の財源確保

地域内の生活課題に取り組む住民主体の活動を支援するため、必要となる財源の確保に取り組みました。社協会員組織の強化と、赤い羽根共同募金運動を推進しました。

（1）会員組織強化事業

社協会費の用途を分かりやすく広報し、会員組織の強化を図りました。会費は、ボランティア団体や地区社協・小地域福祉ネットワークの活動助成など、地域福祉の推進に活用しました。

項 目	実施結果・内容
一般会員の募集	<p>○ 一般会員（1世帯当たり年額600円）</p> <p>◆6,900世帯を目標に、4～5月、自治会長等に納入依頼文・チラシを送付し、協力を依頼</p>
特別会員の募集	<p>○ 特別会員（1人当たり年額3,000円）</p> <p>◆650人を目標に、7～8月、前年度会員等に納入依頼文・チラシを送付し、民生委員に取りまとめの協力を依頼</p>
法人会員の募集	<p>○ 法人会員（1団体当たり年額5,000円）</p> <p>◆30法人を目標に2月に職員が直接訪問し、協力を依頼</p> <p>◆大町商工会議所会員となり、11月1日の商工会議所総会の折、法人会員募集の依頼をし、新規会員加入に努めた</p>

会員の確保	○「社協おおまち」に一般会員・法人会員募集について掲載 ○「社協おおまち」に特別会員名簿・法人会員名簿を掲載 ○自治会未加入の約800世帯に納入依頼文・社協の活動内容を掲載したチラシを送付し、会員確保に努めた
-------	--

● 年度別会員別会費集計表（過去5ヵ年）

（金額の単位：円）

年度	一般会員（一般会費）			特別会員（特別会費）			法人会員（法人会費）		
	世帯数	金 額	前年比	人数	金額	前年比	団体	金額	前年比
H27	7,602	4,561,200	99.1%	759	2,277,000	98.4%			
H28	7,535	4,521,000	99.1%	732	2,196,000	96.4%			
H29	7,384	4,430,400	98.0%	681	2,043,000	93.0%	14	70,000	
H30	7,324	4,394,400	99.1%	652	1,956,000	95.7%	17	85,000	121%
R1	7,180	4,308,000	98.0%	641	1,923,000	98.3%	21	105,000	123%

【評価と展望】

- 平成29年度より開始した法人会員については、商工会議所総会の折等に会員募集を依頼し、昨年より会員を増やすことができた。引き続き社協職員が直接協力を依頼するとともに振込依頼書を活用することで会員確保に努める。
- 市の人口の減少や自治会未加入者の増加、全国的な寄付意識の変化に伴い会費は減少傾向にあるが、引き続き地域に根差した社協事業への理解と周知を図り会員確保に努める。

（２）赤い羽根共同募金運動推進事業

共同募金は、都道府県を単位とする共同募金会が実施主体となり、各市町村はその支部組織として活動を行っており、当市も含め大半の市町村では、社協で事務局を担っています。全国的に募金額が減少傾向となっているなか、寄付付き商品の販売や職域募金を行う等、募金活動を積極的に行いました。



項 目	実施結果・内容
前年度募金実績に基づく配分金事業の実施	○5月初旬に配分決定額である 7,153,431円（市社協分を含む）を各地区社協に配分した
目標額の設定と達成に向けた各種募金運動の実施	○6月に目標額を設定し、10より募金運動を開始。 台風19号により県内多くの地域で被災したこと等により、当初計画していた運動すべてを実施することができなかったが、目標額の約97%である8,528,257円の募金を得た
募金目標額を達成するための運動	○当初、広報啓発も兼ねて、市内スーパーで2回街頭募金を予定していたが、台風19号災害もあり、未実施。また、市民ふれあい広場での募金活動については、同様の理由でイベント自体が中止となった
公募配分事業	○8団体より申請があり、配分決定を行った

● 募金実績の推移

（単位：円）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
募金目標額	9,656,000	9,543,000	9,236,000	9,069,000	8,811,000
募金実績額	9,520,011	9,134,658	8,954,888	8,810,431	8,528,257

● 令和元年度共同募金配分金の内訳

(単位：円)

配分先		高齢者 福祉活動	障害児・者 福祉活動	児童・青少年 福祉活動	住民全般 福祉活動	合 計
地区社協分	大町地区	525,052	50,000	240,000	580,000	1,395,052
	平地区	140,459	40,000	180,000	570,000	930,459
	常盤地区	322,952	30,000	540,000	380,000	1,272,952
	社地区	281,512	10,000	40,000	150,000	481,512
	八坂地区	214,711	0	40,000	60,000	314,711
	美麻地区	83,942	10,000	30,000	57,000	180,942
	計	1,568,628	140,000	1,070,000	1,797,000	4,575,628
市社協分		192,000	515,000	0	1,870,803	2,577,803
合 計		1,760,628	655,000	1,070,000	3,667,803	7,153,431

● 令和元年度市社協配分金事業の内訳

(単位：円)

事業名	配分金額	事業名	配分金額
福祉団体助成事業	280,000	福祉輸送サービス事業	332,265
市民ふれあい広場開催事業	500,000	心配ごと相談事業	69,156
社協報発行事業	1,190,744	災害見舞金等給付事業	118,700
希望の旅事業	86,938		
合 計			2,577,803

● 福祉団体助成金交付実績

(単位：円)

団体名	助成額	団体名	助成額
大町市老人クラブ連合会	50,000	大町市民生児童委員協議会	50,000
大町市身体障害者福祉協会	35,000	大町市保護司会	25,000
大町市手をつなぐ育成会	30,000	大町市遺族会	30,000
大町市子ども会育成連絡協議会	50,000	大町市更生保護女性会	10,000
合 計			280,000

【評価と展望】

- 昨年に引き続き、公募による申請の受付を行った。公募形式を広く住民に周知し、新たな申請団体の増加に努める。
- 全国的に共同募金の額は減少傾向にあるが、募金が何に使われているのか積極的に発信することで、共同募金に少しでも関心を持ってもらうよう努めていく。

赤い羽根共同募金 配分金事業



平地区「雪上運動会」



美麻地区「あそびり教室」(運動教室)

3. 公益事業の推進（指定管理施設の管理運営等）

指定管理施設の経営方針「誰もが安心して利用できる地域に根差した良質な施設経営」に従い、総合福祉センター3施設を管理・運営しました。

項 目	実施内容・結果
施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設備の定期点検・保守点検を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 灯油地下タンク気密試験（大町・八坂・美麻各1回） ◆ 防災・防災設備点検（3施設各2回） ◆ 電気設備点検（大町・美麻各6回 ※八坂は支所で実施） ◆ 給排水・空調設備点検（3施設各2回） ◆ 自動ドア点検（3施設各3回） ◆ エレベータ点検（大町4回 ※遠隔点検は毎月） ○ 日常清掃（通年）、特殊清掃（大町2回、八坂・美麻各1回）を実施 ○ 建物・設備の破損・故障に迅速に対応し、計画的に整備（内訳別記） ○ 大町市に次年度以降3カ年の整備要望書を提出 ○ デイサービス棟照明交換（大町・市直営）
利用者ニーズの把握とサービスへの反映	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大町市総合福祉センター運営懇話会を開催（8月30日） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 前年度利用状況・事故発生状況・施設整備状況の報告 ◆ 施設の利用促進について ほか ○ 利用者の声（意見箱）や管理日誌で意見・要望を把握し、随時対応 ○ 自主事業の実施や施設整備等について、市と随時協議
施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公衆浴場無料開放デーの設置 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもの日（5月5日 204人） ◆ 敬老の日前日（9月15日 154人） ○ 年末年始の公衆浴場臨時営業 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 12月29日（10:00～17:00 73人） ◆ 12月30日（10:00～17:00 94人） ◆ 1月3日 （13:00～17:00 83人）※おしるこ振る舞い
施設サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5～10月第1金曜日に全職員による環境美化・緑化活動を実施 ○ 館内を禁煙とし、屋外に喫煙所を設置して分煙を徹底 ○ 前年度繰越金等を財源とした施設整備を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 2階貸館会議室照明をLED化（大町） ○ 専門業者による浴室内特殊清掃の実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 年2回の専門業者による館内特殊清掃に加え、浴室内の清掃を実施
その他施設の利活用等	<ul style="list-style-type: none"> ○ エントランスホールの活用 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 子供服等のリユースコーナー「コアラのぽっけ」を常設（平日） ◆ セタコンサートを開催（7月8日） ◆ ハビたび音仲間コンサート（10月19日） ◆ 河合まこと展の実施（10月24日～11月5日） ◆ 絵画や短歌等、市民の作品を随時展示 ○ ミニふれあい広場の実施（大町：12月22日 当日460人参加） 台風で中止となった「市民ふれあい広場」を縮小した形でセンターで実施 ○ 大町アルプスマラソン参加者公衆浴場割引 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 10月20日 総入浴者数212人 ○ 美麻ふれあいまつりの開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 8月24日 参加者160人

● 各施設の利用状況

施設名	項 目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	310 日	延べ 28,942 人 (93.4 人/日)
	会議室等貸館	360 日	延べ 1,926 団体 (5.4 団体/日) 延べ 15,774 人 (43.8 人/日)
八坂総合福祉センター	デイサービス	257 日	延べ 4,113 人 (16.0 人/日)
美麻総合福祉センター	デイサービス	257 日	延べ 4,851 人 (18.9 人/日)
	会議室等貸館	242 日	延べ 126 団体 (0.5 団体/日) 延べ 1,589 人 (6.6 人/日)

● 公衆浴場利用状況の推移（大町）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
一 般 (人)	6,849	7,180	6,895	6,098	6,439
65 歳以上 (人)	19,164	20,619	20,479	19,799	20,104
障がい者 (人)	2,199	2,266	2,008	1,697	1,870
小中学生 (人)	1,016	1,137	1,022	834	529
優待券等 (人)	128	104	126	58	0
合 計 (人)	29,356	31,306	30,530	28,486	28,942
利用料収入 (千円)	6,256	6,665	6,525	6,100	6,278

● 貸館利用状況の推移（大町）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
利用件数 (団体)	2,042	2,108	1,939	1,894	1,926
利用人数 (人)	19,306	20,938	18,103	17,311	15,774

● 電気料・燃料費の実績

(単位：千円)

施設	電気料			燃料費		
	R1	H30	増減	R1	H30	増減
大町	6,220	6,254	▲34	1,863	2,001	▲138
八坂	283	255	28	84	71	13
美麻	1,384	1,520	▲136	348	373	▲25
合計	7,887	8,029	▲142	2,295	2,445	▲150

● 各施設の設備・備品等修繕実施状況

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用 (円)
大町	厨房冷蔵庫修繕	部品交換	47,315
	たんぼトイレ水漏れ修繕	部品交換	43,200
	救助袋表示板修繕	部品交換	13,200
	除雪機修繕	部品交換	50,072
	ひまわり棟多目的トイレ修繕	部品交換	170,500
	1、3 階トイレ照明修繕	部品交換	44,000
	3階テレビ修繕	機器交換	109,780
	スプリンクラーポンプ修繕	部品交換	211,200
	ボイラー制御タイマー修繕	部品交換	63,800
	ボイラーポンプ修繕	部品交換	198,000
	ボイラー配管修繕	部品交換	57,200
	その他消耗部品等修繕	部品交換	83,551
合 計			1,091,818

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用（円）
八坂	浴室水栓修繕	部品交換	48,600
	入口引き戸修繕	部品交換	48,600
	給湯ポンプ水漏れ修繕	部品交換	16,740
	トイレ水漏れ修繕	部品交換	100,656
	塩素ポンプ修繕	部品交換	146,520
合 計			361,116

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用（円）
美麻	食器洗浄機修繕	部品交換	39,600
	ガス警報器修繕	機器交換	72,600
	誘導灯バッテリー修繕	部品交換	66,990
	ナースコール修繕	部品交換	44,000
	キッチン水栓修繕	部品交換	7,980
合 計			231,170

● 各施設の設備・備品等整備実績

施設	整備箇所・内容	支出科目	費用（円）
大町	2階フロア照明LED化	消耗器具備品費	388,800

【評価と展望】

（大町）

- 29年度からの繰越金を財源に、館内照明のLED化について、計画どおり移行が進んでいる。
- 公衆浴場の利用者がここ数年減少傾向にあったが、本年度増加に転じ、無料開放日やアルプスマラソンでの利用も増加し、さらに利用促進方法を検討。

（八坂）

- デイサービス利用者数は横ばい傾向だが、総合事業利用者も含め、家族それぞれのニーズに応じた柔軟な対応を継続している。

（美麻）

- 保健センター等の施設を有効に活用し、介護予防事業等を開催。地区住民の健康づくりや交流に努めた。

（3施設）

- 各施設の老朽化が進み、大町ではすでに空調設備が一部使用できない状態。また、ボイラーについても部品供給期間が満了しており、修繕が困難な状況。計画的な改修計画を市と協議する中で、最小限のコストで最大限の効果が得られる提案を検討



大町市総合福祉センター1階
エントランスホールの活用
～R1.10.19 はぴたび音仲間コンサート～

Ⅱ お互いさまのまちづくり

お互いさまのまちづくりをめざして、地域の支え合い活動やボランティア活動支援と相互の連携強化を図りました。

1. 地域における支え合い活動の推進

地域にある生活課題の掘り起こしと助け合い活動の活性化のため、ご近所支え合い事業、小地域福祉ネットワーク事業、地区社協連携強化事業に取り組むとともに、市民ふれあい広場を開催しました。

(1) 地域ふれあい交流事業

市内では、すでに住民主体による地域活動が各所で開催されています。それらの地域の資源を皆で共有することが必要であり、地域への訪問活動と情報発信を行いました。

項 目	実施結果・内容
交流会(サロン)の開催状況把握と活動支援	<p>◆サロン等への訪問活動 楽喜クラブ、スキルウォークゼロ、栄町カフェ、よつば会、八日町サロン、大新田町布切ボランティア、ピンポン吹き矢、カフェこだま、ミニサロンこだま、つくしの会サロン、相生町体操教室、よってきましょ、幸町体操教室、大新田町体操教室、ケンローの会、やまぼうしの会、大新田町健茶会、なんばら会、ヤングハート、桜田町高齢者サロン、白塩歌声サロン、歩知楽、かもしか、日赤OB会、あやめ会、ローズウォーキング、まちなかウォーキング、うたごえサロン、老人クラブウォーキング、食改シニアカフェ、草書会、SANBAの会、ライオンズクラブ</p> <p>◆子ども食堂関係への訪問支援 ○美麻の森 ○大人と子供がつながる食堂 ○さくらさくら ○北アルプスプラットフォーム運営委員会</p>

【評価と展望】

- 小地域福祉ネットワークなど、以前より継続して活動している団体、市の助成を受け新規に活動するサロン等も増えてきている。活動が活発におこなわれるためにどの方法が一番良いか、住民の「やってみたい」を応援できるよう柔軟な支援を行った。
- 担い手不足等により活動の継続が困難となってきた団体もあるため、地域活動がなぜ必要かを地域の皆さんと一緒に考え、その時々にあった仕組みや方法を考え呼び掛けていく。



高根町すこやか会



南原町お茶のめや

(2) 住民支え合いマップ事業

日頃からの地域住民による支え合いが災害時への大きな備えとなることから、防災意識の向上と住民自らが課題を把握しその課題に向き合うことを目的とした「支え合いマップづくり」を他の事業と併せ推進しました。

項 目	実施結果・内容
自治会等への説明会及び作成支援	≪集会等でのマップ推進活動≫ ◆災害サポーター養成講座と併せ、地域防災を進める手法の一つとして支え合いマップを紹介し推進した。 (開催地区等) ※再掲 ◆4/27 市女性団体連絡協議会 (40名) ◆5/13 市食生活改善推進協議会 (50名) ◆5/26 須沼自治会 (40名) ◆8/24 大新田町自治会 (30名) ◆10/20 上ー自治会 (50名)

● マップ作成自治会数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
マップ作成自治会数	23	23	23	23	23

【評価と展望】

- マップ作成は目的ではなく手段。目的化してしまうことを防ぐためにも、「災害サポーター養成講座」等で地域防災の意識啓発を進めていくことが重要。
- 支え合いマップは災害への対応手段の一つとして考えられているが、あくまでも地域の状況を把握し課題を発見することが、地域福祉の推進につながりひいては、災害にも強い地域づくりとなる。この目的を更に地域に浸透させていきたい。

(3) 小地域福祉ネットワーク事業

既存のネットワークを対象とした研修会を開催するとともに、各ネットワークへの訪問活動を行い、活動内容と課題の把握に努めました。

項 目	実施結果・内容
小地域福祉ネットワーク研修会	◆開催日：10月1日 ◆会場：大町市総合福祉センター ◆参加者：34名 ◆内 容：講演：笑い与健康 講師：笑いヨガ認定ティーチャー 五十嵐 千恵 氏
ネットワーク訪問活動	ネットワーク活動の把握に併せ、買い物サポート事業や「安心くらしのもちもちサービス」について周知した

● ネットワーク数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
ネットワーク数	46	46	45	44	45

【評価と展望】

- 生活支援体制整備事業の取組と合わせ、地域住民と一緒に地域資源の把握を行った。
- 「もちもちサービス」のニーズが寄せられた際は、ネットワークを中心に担い手の相談を行い、ニーズ解決に結びついた。
- 小地域福祉ネットワークは、本会とともに長年地域福祉について活動やその内容について共有してきているが、年ごとに役員の変更がある地区もあるためこまめに情報提供を行うことが必要。

(4) 地区社協事業

市内6地区に地区社協が組織され、各地区ごと特色のある事業を展開しました。各地区社協の活動の支援、事業の周知を行いました。

項 目	実施結果・内容
地区社協との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○大町地区、八坂地区、美麻地区の事務局を担当 ○広報誌等による地区社協ごとの事業の紹介をした ○共同募金、地区社協助成金等の交付で地区社協の事業を支援した

【評価と展望】

- 地区社協連絡会で各地区の活動の現状等情報交換し、生活支援員派遣事業(雪かき支援員)の利用者に実施したアンケートから見えてきた課題を共有した。地域ニーズの発掘と資源の開発等、業務への地区社協の関わりが重要となっている。
- 生活支援員派遣事業(雪かき支援員)調整を各地区社協と連携しながら実施できた。
- 平、常盤、社地区では、公民館が地区社協事業を担当しているが、公民館活動は地域活動を支援する面からも重要であり、市社協事業とも連携を深めていく。

(5) 市民ふれあい広場の開催

福祉、子育て、健康、生活環境など、さまざまな分野の参加団体からなる実行委員会を組織し、「ミニふれあい広場」を開催しました。昨年と違い、屋内中心で参加団体とともに思考を凝らした催しを企画し、出会い・交流の場を提供しました。

項 目	実施結果・内容
○参加団体で構成する実行委員会による企画・準備	<ul style="list-style-type: none"> 5月24日 第1回幹事会 7月11日 第1回実行委員会 9月26日 第2回実行委員会 10月10日 臨時幹事会(開催予定日2日前) →「市民ふれあい広場」中止の決定 11月15日 第2回幹事会 11月26日 「2019ミニふれあい広場」実行委員会 12月20日 会場事前準備
○当日の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○台風19号災害復旧支援活動 被災地より仕入れた「りんご」のふるまい、義援金箱の設置 ○出店コーナー 食べ物の販売、お餅のふるまい、手作り品等の販売、各種体験コーナー他 ○ピエロのまー君 館内各所にて開催時間中バルーンアートやマジックを披露 ○抽選会 大町市浄化槽管理組合からの提供品を中心とした景品での抽選会

● 参加団体数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R 1
参加団体数	52	45	46	43	17※

※本年度は規模を縮小して「ミニふれあい広場」を開催

【評価と展望】

- 台風19号の被災地より仕入れた「りんご」のふるまいなどの支援活動を通して、被災地支援の意識を持っていただくことができた。
- 総合福祉センター全体を目一杯活用し、充実した内容のコーナーや催しで、来場者に満足していただくことができた。
- 例年のようなステージ発表はできず屋内でのイベントとなったが、家族連れを含め多くの来場者でにぎわった。



先着200名にふるまわれた「りんご」



ジュニアリーダーの
「ものづくりコーナー」

2. ボランティア活動の推進

ボランティアセンターの活動や役割の周知を図り、ボランティア活動への理解促進と、活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター運営委員会の開催やボランティア保険手続き、備品貸出等により、ボランティア活動を支援しました。

項 目	実施結果・内容
相談・登録・ニーズ把握・コーディネート機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアに関する相談、連絡調整、ボランティア登録を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 登録状況 ボランティア団体 103団体 6,272人 ○ センター内に掲示板を設置し、地域のボランティア活動やイベントの紹介を掲示し、周知活動に努めた
ボランティアセンター運営委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアセンターの適正な運営を図るため、運営委員会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 第1回 8月26日 10人出席 <ul style="list-style-type: none"> 内 容 令和元年度の取り組み、平成31年度事業報告 ボランティア基金の活用について ◆ 第2回 2月19日 11人出席 <ul style="list-style-type: none"> 内 容 令和元年度事業報告、ボランティア基金の活用 令和2年度事業計画について

項 目	実施結果・内容			
個人・団体への各種 備品の貸出	○ 備品の貸出実績（別表参照）			
	○ 機材使用実績			
	コピー機	団体数 19 団体	白 7,229 枚	カラー477 枚
	パソコン	団体数 4 団体	延べ 24 回	
貸出備品整備	○ ボランティア基金を財源として、貸出用ポップコーン機 1 機、防災救護 笛 300 個、スクリーン1 台、プロジェクター用ランプ 1 ケを購入整備			
ボランティアに関 する各種保険窓口 業務	○ボランティア活動保険加入状況 A プラン 1,420 人 B プラン 526 人 天災 A プラン 1 人 天災 B プラン 6 人 ○ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償保険等各種保険加入の 窓口業務実施			
ボランティアニュ ースの発行	○年6回発行（奇数月）全戸、市内小中高校、NPO法人配布 9,200部 （別表参照）			
ボランティア研修 会の開催	○ボランティアリーダー研修会を 2 月 28 日に開催する予定でしたが、新 型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期 ○大北ボランティア地域活動フォーラム ・開催に向けた実行委員会3回開催 反省会は中止 ・10月19日開催予定でしたが、台風19号災害の影響により中止			

● ボランティア登録団体数の推移 (単位：団体)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
登録団体数	98	100	105	105	103

● 備品の貸出実績内訳 (単位：件)

品名	車いす	体験用車いす	高齢者疑似体験	ベビースケール	点字器	アイマスク
件数	88	6 (47)	7 (17)	1	4 (124)	5 (148)
品名	プロジェクター	スクリーン	テント	ワイヤレスマイク	ポップコーン製造機	綿菓子製造機
件数	82	14	4	7	16	20
品名	ポッチャ	カーレット	ゲーム用品	暗幕	パーテーション	イーゼル
件数	40 (6)	23	60	4	2	2
品名	白杖	視覚体験グラス	レクリエ	マグネット吹き矢	ノートパソコン	ドラム
件数	7 (8)	3 (45)	2	9	2	2

※ () 内福祉教育使用数

● ボランティアニュースの発行内容

号 数	発行日	主な記事
191号	5月1日	ボランティア活動助成金紹介/貸出備品紹介 ボランティア団体登録と助成金の申請について
192号	7月1日	希望の旅参加者募集/七夕コンサート開催 お出掛けボランティア講座参加者募集/共同募金公募配分事業開始
193号	9月1日	イベント&研修参加者募集 傾聴ボランティア養成、要約筆記入門、手話講座募集
194号	11月1日	福祉啓発標語募集/河合まこと絵画展開催 災害支援台風19号災害報告
195号	1月1日	大町市社会福祉大会開催/カレンダー回収依頼/雪かき支援員募集 ボランティアリーダー研修会開催
196号	3月1日	福祉啓発標語入選者発表 ボランティア保険のご案内/知って得する社協の講座参加者募集

【評価と展望】

- ボランティアセンター運営委員会の定期開催し、ボランティア基金の活用方法やボランティア事業の内容についての意見交換を行い、事業内容の見直しや事業を実施した。
- 台風19号災害や新型コロナウイルス感染症拡大防止により、年度後半に予定していたボランティア関係の研修会やイベントが中止となってしまう、集まる機会は減少したことは残念であるが、ボランティアニュースの発行等を通じての周知活動により、ボランティア活動支援に努めた。

(2) 有償ボランティア事業

項 目	実施結果・内容			
有償ボランティア コーディネート	希望者等からの要請を受け、地域や関係機関等との調整をした			
	○コーディネート件数 13件			
	○取扱い件数（1件で複数ニーズあり）			
	内容	件数	内容	件数
	草とり、草刈り	6件	買い物支援	3件
	家のゴミ片付け	2件	日常ゴミ出し	1件
	犬の散歩	1件	庭木の剪定	1件
	○対応結果			
	▼もちもちサービス対応	3件	▼既存の支え合いで対応	4件
	▼シルバー人材と調整	2件	▼企業ボラ	2件
	▼他機関と調整	3件		

【評価と展望】

- もちもちサービスの相談は、民間企業のサービスや既存の支え合いで解決できるものがほとんどで有償サービスにつながった件数は少ない。無償では頼んだり頼まれたりしにくい場合に「もちもちサービス」の有償の仕組みを利用していただく。
- より多様なニーズに対応できるよう担い手の育成も課題になっている。
- 既存の地域団体や機関と連携し、個別のニーズに対し相談できる関係、チームを組んで対応できる体制を整えることが重要である。

大町市社会福祉協議会 有償在宅サービス事業

住民参加の有償在宅サービス

安心くらしのもちもちサービス

もちもちサービスって？

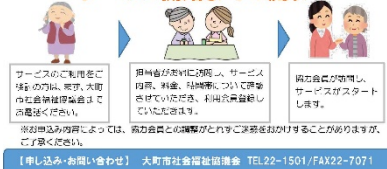
単独のボランティア活動で、高齢者・障害者への支援活動と自分だけで「大町」という地域社会のつながりを築いていくのではなく、仲間を呼んで「大町」を築いていくという考えから、住民参加の「もちもちサービス」の仕組みを利用していただく。



サービスの内容	時間と料金
<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅の清掃 ● 「ゴミ出し」(ゴミの分別)は、ボランティアが担当します。 ● 買い物支援 ● 草刈り・草取り ● 家のゴミ片付け ● 犬の散歩 ● その他、地域社会の活性化に貢献する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間：午前9時30分～午後3時 ● 料金：3,000円 ● ※30分単位で利用可能 ● ※利用料金は、大町市社会福祉協議会から購入していただきます。

※身体介護や介護サービス等の提供、また、介護保険制度などの公的サービスで対応可能な内容については、もちもちサービスの対象外となります。

サービス開始までの流れ



大町市社会福祉協議会 有償在宅サービス事業 住民参加の有償在宅サービス

もちもちサービス 協力会員募集！

もちもちサービスって？

このサービスは、介護保険制度などの公的サービスでは対応できない「ちょっとした困りごと」を、地域社会のつながりを築いていくという考えから、住民参加の「もちもちサービス」の仕組みを利用していただく。

協会の職員が、サービス提供に当たります。サービス提供後、利用料金を協会より返金いたします。

協力会員の登録手順は？
<ul style="list-style-type: none"> ● 協会の職員が、サービス提供に当たります。 ● サービス提供後、利用料金を協会より返金いたします。 ● サービス提供料金は、サービス提供後、利用料金を協会より返金いたします。 ● サービス提供料金は、サービス提供後、利用料金を協会より返金いたします。

※身体介護や介護サービス等の提供、また、介護保険制度などの公的サービスで対応可能な内容については、もちもちサービスの対象外となります。

協力会員はいつでも募集しています。

「私にも何かできるかしら」という気持ちで、「困った誰かを手伝ってあげたい」という気持ちで、大町市社会福祉協議会へお問い合わせください。

【申し込み・お問い合わせ】 大町市社会福祉協議会 TEL22-1501/FAX22-7071

Ⅲ 安心して暮らせるまちづくり

日常生活で支援を必要とする人が住み慣れた地域で暮らし続けるための各種在宅福祉サービス等を提供し、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが生きがいを持って「安心して暮らせるまちづくり」を推進しました。

1. 生活支援活動の推進

ひとりでは解決できない暮らしの中の悩みごとや、身体状況・居住環境による外出困難、認知症や障がい等による判断能力の低下、雪かき支援員の派遣等に対応するサービスを提供し、生活支援活動の推進に努めました。

(1) 心配ごと相談事業

暮らし中の悩みごとについて、1人で悩むことのないよう、解決の糸口を相談員とともに見出し、いく相談窓口を開設しました。

項 目	実施結果・内容
心配ごと相談	○ 毎月2回開設
司法書士相談	○ 相談件数85件

● 相談内容

(単位：件)

区分	生計	土地 家屋	家族	離婚	財産	金銭 貸借	健康	近隣	苦情	その他	合計
H29	1	14	6	3	11	5	0	6	0	9	55
H30	0	15	6	3	23	5	0	2	0	13	67
R1	2	13	12	2	28	14	2	4	0	8	85

● 相談件数の推移

(単位：件)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
相談件数	55	61	55	67	85

【評価と展望】

- 法律に関係する内容にも対応できるよう心配ごと相談と司法書士相談を併せて開設した。
- 大北地域各社協の相談日程を、社協おまちや有線放送等で広く相談窓口を周知した。
- 生活就労センター「まいさぼ大町」及び日常生活自立支援の相談受付を広報した。

(2) 福祉輸送サービス事業

ひとりでは公共交通機関が利用できない高齢者や障がい者等の外出を支援するため、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両による送迎サービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
通院や買い物等外出時の福祉車両による移動支援	○ 通院や買い物等の外出支援として福祉車両による送迎サービスを提供 運行時間 平日8:30～17:00（祝日・年末年始を除く） 利用料金 市内500円、市外1km当たり50円を加算 運行範囲 市内発着で市境から20km以内 ◆ 運行日数・回数 240日・延べ3,802回 ◆ 年度末利用登録者数 236人（うち新規登録者数 77人）
福祉車両の貸出	○ 空き時間に福祉車両を貸し出し（年末年始を除く） ◆ 利用回数 延べ10回
運転手の確保	○ 資格認定職員数 16名（専任2名）

● 年度末利用登録者数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
利用登録者（人）	142	132	144	197	236

● 拠点別運行回数の推移

（単位：回）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
大 町	2,179	2,058	2,165	2,721	3,452
八 坂	138	139	203	258	249
美 麻	89	91	90	158	101
合 計	2,406	2,288	2,458	3,137	3,802

【評価と展望】

- 福祉輸送サービスにより、受診や買い物等の外出の機会を確保し、医療や介護等の機関と連携しながら、できるだけ利用者の希望に添ったきめ細やかな対応を心掛けた。
- 令和元年度より、専任の運転手を 1 名増員し、増加する利用者のニーズに対応した。
- 美麻地区では、定期的な利用者の長期入院や施設入所に伴い利用者が減となった。
- 有償運送登録更新により、令和2年度より 3 年間の事業実施手続きを行った。引き続き、安全運転と車両整備に努め、福祉輸送サービスの実施を継続していく。



(3) 日常生活自立支援事業

大北地域の基幹的社協として、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の福祉サービスの利用援助や、日常的金銭管理等のサービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
福祉サービス利用 援助契約	○ 専門員による相談受付、県社協との協議、契約 ◆ 新規契約 4件 解約 6件 ○ 専門員、生活支援員による利用援助支援 ◆ 支援回数 825回（平均69回／月） ○ ケース検討会議の出席 対象者6人 延べ16回
成年後見制度との 連携	○ 成年後見相談会に出席し、判断能力の低下による利用者の相談をした 本事業から成年後見制度への移行3件
サービスの向上	○ 県全体の専門員を対象とした事例検討会に参加 ◆5月22日 浅間温泉文化センター

● 年度末契約者数・延べ支援回数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
年度末契約者数（人）	79	76	70	52	50
延べ支援回数（回）	2,780	2,570	2,291	1,729	1,617

● 市町村別・対象者別契約者数（令和2年3月末現在）（単位：人）

対象者	大田市	白馬村	小谷村	合計
認知症高齢者	11	2	1	14
知的障がい者	14			14
精神障がい者	19	2	1	22
合 計	44	4	2	50

※ 松川村は平成 28 年度から準基幹的社協として直営で実施。

※ 池田町は平成 30 年度から単独実施社協として直営で実施。

【評価と展望】

- 判断能力の低下が著しい利用者については、成年後見支援センター、市町村行政、包括支援センター等の関係機関と連携しながら成年後見制度への移行を進めていく。
- 生活支援員が令和 2 年度末で登録満了となることから、養成講座を計画的に開催していく。

(4) 成年後見支援センター事業

大北地域を対象に、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の成年後見制度の利用に関する相談や制度の普及・啓発を実施。親族や専門職等による支援が難しい人の法人後見を受任するため、北アルプス成年後見支援センターを運営しました。

項 目	実施内容・結果
成年後見制度の利用に関する相談・支援	○常設相談員による相談・支援を実施 ◆ 延べ 122件 ○成年後見無料相談会を開催（毎月） ◆ 延べ 36件 ○日常生活自立支援事業との連携 ◆ 日常生活自立支援事業から成年後見制度移行3件 専門職後見1件 親族後見1件 センター受任1件

項 目	実施内容・結果
普及・啓発	<p>○普及啓発研修会を実施</p> <p>◆第1回 7月4日 120名参加 会場 あづみ病院</p> <p>◆第2回 10月31日 30名参加 会場 大町市総合福祉センター</p> <p>講師 弁護士 塩野悠子氏</p> <p>○普及啓発講演会を実施</p> <p>◆10月31日 52名参加</p> <p>内容 講演「高齢者、いざという時の備え ～相続、遺言、後見制度～」</p> <p>講師 司法書士 帯金康祐氏</p> <p>会場 池田町 やすらぎの郷</p> <p>○広報紙、パンフレット、ホームページ等による広報を実施</p>
法人後見の受任	<p>○ 家族や専門職等による支援が難しい人の法人後見を受任</p> <p>◆30年度末受任件数 9件（後見7件、保佐2件）</p> <p>◆元年度新規受任件数 11件（後見9件、保佐2件）</p> <p>◆元年度終了受任件数 4件（後見4件 理由：死亡）</p> <p>◆元年度末受任件数 16件（後見12件、保佐4件）</p>
適正な事業運営	<p>○運営委員会の開催</p> <p>◆第1回 8月2日 ・H30年度事業報告・決算 ・令和元年度事業計画・予算 ・受任状況報告</p> <p>○小委員会の開催（全5回）</p> <p>◆内容 法人後見受任の適否について</p> <p>◆開催日 ・ 4月10日 ・ 7月12日 ・ 8月2日 ・ 9月13日 ・ 11月28日</p>

●相談件数及び法人後見受任の推移

（単位：件）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
相談件数	—	99	120	176	158
法人後見受任件数	—	3	4	9	16

●市町村別・区分別相談件数

（単位：件）

市町村	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合 計
件 数	103	26	9	7	9	4	158
区 分	認知症高齢者		知的障がい者	精神障がい者		一 般	
件 数	86		30	18		24	

●市町村別・類型別法人後見受任数(累計)

（単位：件）

類 型	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	合 計
後 見	11	3	3	1	1	19
保 佐	3	1				4
補 助						
合 計	14	4	3	1	1	23

※平成28年度から令和元年度までの法人後見受任件数

【評価と展望】

- 成年後見制度利用促進法が施行され、日常生活自立支援事業との連携強化及び成年後見制度へのスムーズな移行が求められている。
- 市町村が策定を予定している成年後見制度利用促進基本計画に協力する。
- 市町村首長申し立てが増加している中、今以上に市町村行政及び地域包括支援センター、大北圏域障害者相談支援センターとの連携を深める。
- 身寄りのない被後見人の死亡時の対応について、関係機関の役割調整が必要

（５）豊かな暮らし応援事業

生活の不便さを少しでも解消するサービスの提供や、暮らしに役立つ講座の開催を通して、豊かな暮らしの増進に努めました。

項 目	実施結果・内容
美麻診療所患者輸送業務	○ 運行日数 129日（毎週月・水・木曜日） ○ 延べ利用者数 528人（平均4.1人/月）
美麻地区介護予防教室参加者輸送業務	○ 運行日数 18日（6～12月 隔週火・木曜日他） ○ 延べ利用者数 140人（平成7.7人/日）
八坂・美麻配食サービス配達業務	○ 八坂・美麻地区内の高齢者等を対象に、各地域福祉センターを拠点とした配達ボランティアによる配食弁当の配達業務を実施 ◆ 配達件数（八坂：0食 美麻：延べ229食） ◆ 実働ボランティア数（八坂：0人 美麻：0人）
生活支援員（雪かき支援員）派遣業務	○ 独居または高齢者のみ等で雪かきが困難な世帯に支援員を派遣 ◆ 延べ派遣回数 628回 ◆ 延べ作業時間 424時間 ◆ 延べ除雪機使用時間 214時間 ◆ 登録世帯数 180世帯（内実利用世帯数 149世帯） ◆ 雪かき支援員数 73人（内実稼働人数 50人）、1団体 ○ 支援員登録者対象の説明会（11月15日） ○ 支援員アンケートの実施 ○ 市内自治会長を対象に、雪かき支援の現状説明会を開催。前年実績値をもとに、自治会別の支援員数と支援希望者数を説明した 支援員不足の現状を理解いただき、本事業への協力を呼びかけた ◆大町地区（9/14） ◆常盤地区（9/26） ◆社地区（9/24） ◆連合自治会総会（11/13） ※H30年度利用者ニーズアンケート結果を周知した
高齢期安心生活支援業務	○ 高齢期を豊かで自分らしく生活するため、「知って得する社協の講座」を開催 ◆ 場所 大町市総合福祉センター大会議室 ◆ 内容 2月21日 「特殊詐欺に遭わないために」参加者20人
金銭管理及び財産保全サービス事業	○ 専門員による相談受付、契約 ◆ 新規契約 7件 解約 2件 ○ 専門員による利用援助支援 ◆ 利用援助支援回数 249回（平均21回/月）

● 金銭管理及び財産保全サービス推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
年度末契約者数（人）	—	—	—	11	16
延べ相談等支援回数（回）	—	—	—	233	555

【評価と展望】

（美麻診療所患者輸送業務）

- 不在となっていた医師が5月に着任し、診療内容が充実したことなどから、利用者増となった。冬期間は、安全を考慮し小型の車両使用の許可を行政よりいただき、より安全な運行を行うことができた

（美麻地区介護予防教室参加者輸送業務）

- 新規事業として、行政と連携し、市主催の介護予防事業参加の送迎を実施。乗降に配慮し安全な運行に務めることができた。

（八坂美麻配食サービス配達業務）

- 配食ボランティアの受け手がいないため職員対応となっている。今後、地域の実態に合わせた見直しが必要となっている。また、利用者が少ないことも要因。

（生活支援員派遣事業）

- 支援員の確保が難しい。自治会の理解と協力が不可欠であり、説明を重ねていく。
- 支援した高齢者から感謝の声が届いている
- 利用者アンケートにより、高齢者の困りごとやニーズが把握できた。
- アンケートにより、雪かき支援からゴミ出し等の地域支え合い活動につながっていることがわかった。

（高齢期安心生活）

- 新型コロナウイルスの影響から、全5回企画したが、内4回は中止とした。
- 実施した講座では、特殊詐欺の現状や防止するための方法や困ったときの相談方法等具体的な講座であり、受講者より好評を得た。

（財産保全）

- 家計改善支援事業との連携により、生活の安定を図ることのできるケースが増えている。



生活支援員（雪かき支援員）高齢者宅の除雪

声かけよう 「ひとりじゃないよ、僕がいる」

（大町八坂中学校2年 内山 歓菜さん）

令和元年度 福祉啓発標語 最優秀作品

2. 高齢者福祉活動の推進

改正介護保険制度に対応し、高齢者が生きがいを持って充実した在宅生活を継続できるよう、また、利用者、介護者の多様なニーズに応えるべく、柔軟なサービス提供に努めました。

(1) 居宅介護支援事業

多様な地域資源を活用した適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関・団体等と連携しながら自立に向けたケアプランを作成し、在宅生活の継続支援に努めました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 240日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 94人 ○ 延べ利用者数 1,033人（平均86.1人／月）
居宅介護サービス計画の作成・モニタリング	○ 本人と家族の意向を聞き、介護保険サービス計画書を作成・給付管理を行った（介護予防サービス計画書作成・給付管理） ○ 毎月1回以上自宅に訪問してモニタリングを実施した ○ 医療と介護の連携強化に努めた
介護全般の相談・手続きの代行	○ 入院、退院時の相談、施設への相談を行った ○ 介護全般に関わる相談を随時受け付けた ○ 介護認定の更新、住宅改修、福祉用具購入の手続きの代行をした
ケアプラン指導研修等の参加	○ 大北圏域で開催された各種研修会等に参加し、資質向上に努めた ○ 介護保険改正に伴う制度の把握に努めた

● ケアプラン作成件数の推移 (単位: 件)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
要 支 援	120	105	225	※172	171
要 介 護	956	838	575	※683	862
合 計	1076	943	800	※855	1,033

※13 カ月実績

【評価と展望】
○ 介護支援専門員として資質の向上を図り、ケアマネジメント業務充実に努めた。今後も研修等への参加を積極的に実施したい。
○ 事業所内で勉強会を行うことでスムーズな業務に繋げていくことができた。勉強会により一層の質の向上を図りたい。
○ 独居や高齢者世帯等で家族支援が得られないケースは、関係機関との連携を強化して対応することが増えた。今後もその必要性に応じ連携を深め対応をしたい。
○ 介護保険以外でも地域の実情に合わせた多様なサービスを提案できた。地域とのつながりを大切にしたい提案に努めたい。
○ 事業所内で担当変更を行ったケースが数件あったが、新たな目線での関わりを持つことができた。今後も必要に応じ担当者の変更も検討していきたい。

(2) 訪問介護事業

利用者が安心して在宅生活を維持・継続でき、また介護者の負担軽減が図れるよう、ホームヘルパーの訪問による身体介護及び生活援助のサービス提供を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 営業日数 366日 ○ 年度末契約者数 125人 ○ 延べ訪問時間 17,910時間（平均1,492.5時間／月）
安定経営とサービスの向上	○ 関係機関との連携による新規利用者の確保 ◆総合事業 8名 介護保険 35名

項 目	事業結果・内容
職員の資質向上	○ 介護技術向上のため、年間計画を作成し、定期的に研修を実施した
多職種との連携	○ ケアマネージャーや医療・福祉関係との連携を図れた

● 延べ訪問時間数の推移

(単位:時間)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
要 支 援	2,800	2,785	2,805	※2,503	1,926
要 介 護	16,683	15,394	15,308	※17,033	15,984
合 計	19,483	18,179	18,113	※19,536	17,910

※13カ月実績

【評価と展望】

- 職員から心配なこと、知りたいことなどを聞き取り、それを反映した研修会を実施し、介護資質・技術の向上に努めた。
- ケアマネージャーへ利用者の状況に合わせたサービスを提案することにより、利用者確保につながった。次年度以降も積極的に取り組みたい。
- 家族や関係者からの情報と訪問記録との比較により、細やかなサービス提供につながるようケアマネージャーと情報共有を行った。
- 職員確保と維持に課題がある。

(3) 訪問入浴介護事業

自宅での入浴を希望する利用者に、安心して心地よいサービスを提供しました。また、介護相談などを通して介護者の負担軽減につながるよう支援を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 257日(12/29~1/3を除く月~金曜日) ○ 平均契約者数 19.9人/週 4人/日 ○ 延べ訪問回数 945回(平均79.5回/月)
安定経営とサービスの向上	○ 関係機関との連携 ◆ケアマネージャーとの情報共有を図り、密接な連携が図れた ◆白馬村・小谷村のニーズを積極的に受け入れた 【延べ利用者数内訳: 白馬村・小谷村 538人 大町市ほか 416人】
職員の資質向上	○ 訪問介護・訪問入浴部会研修への参加

● 延べ利用者数の推移

(単位:人)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
延べ利用者数	571	763	789	※1,099	954

※13カ月実績

【評価と展望】

- ケアマネージャーとの連携を深めることで新規の紹介が増えた。事業の特性上ターミナルケアによる短期の契約や医療管理が必要な重度の方も多く、僅かな利用で中止になることが多かった。
- 需要が増えてきている中で、今後もケアマネージャーの依頼に対応できるよう新規獲得に努めたい。

(4) 通所介護事業

【1】 デイサービスセンターひなたぼっこ（認知症対応型デイサービス）

地域とのつながりを深めながら、認知症の進行緩和と心身機能の維持・改善を図るとともに、介護者の支援も視野に入れたサービスを提供し、在宅生活が継続できるよう支援しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 360日（年末年始12/29～1/3を除く） ○ 年度末契約者数 27人 ○ 延べ利用者数 2,889人（平均240.8人／月、8.0人／日）
職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門性の高い職員の育成 ◆認知症に関する内部研修（意見交換）の実施 症状の捉え方、対処法について
安定した経営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者ニーズへの柔軟な対応及び介護支援 ◆通所に躊躇される方など、ご家族の支援に繋げるべく導入手立てやQOLの向上を目的として受け入れに努めた ○ 介護相談（なんでも相談）の実施 ◆ご家族が気軽にお茶を飲みながら相談できる環境づくり ◆ご家族が行事に参加できるようにし、冬目かを図った ◆ご家族やケアマネージャー等関係者と連絡を取り合い、改善に繋げる工夫など取り組みができた ○ 年末臨時入浴サービスの提供（自費サービス：1,400円） ◆実施日：12月30日 利用者数：9人（昨年比 △1人）
ボランティア担い手の拡充と啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方によるボランティア活動の機会づくり ◆6回実施 ボランティア5人、利用者41人、職員40人、ご家族1人、運営推進委員1人 ◆地域との連携・運営の透明性の確保を目的とした会議を開催 ・第1回 10月23日 ・第2回 2月26日 ◆八坂中学校生徒による落語（善亭青空くん） ◆芸能ボランティア（森さんによるマジックショー）

● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
要 介 護	2,892	3,124	3,022	※3,053	2,889

※13カ月実績

【評価と展望】

- 外部への研修への参加については、定員が少なく早期の受付終了や後半では新型コロナウイルスの影響で中止となるものが多く、思うように参加につながらなかった。
- 施設入所される方が増加し、夏までは稼働が減少。また、ショートステイを利用される方も多く、安定した経営に苦慮した。
- ボランティアを継続できなくなった方、また登録される方も減少してきており、ボランティアセンターと連携し、啓発に努め認知症への利用を啓蒙したい。
- 加齢とともに、体力低下し車いすを利用される方が増えた。一般浴槽での入浴介助に腰痛を訴える介護員が増えたため、介護による心身への負担を軽減できるよう職場で工夫を凝らしたい。

【2】 デイサービスセンターこすもす

季節感あふれる行事と選べる昼食を提供しながら、利用者の心身機能の維持・向上を図り、在宅生活の継続を支援する、通所サービス提供を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 309日（年末年始を除く） ○ 年度末契約者数 72人（要介護43人、総合事業29人） ○ 延べ利用者数 3,610人（平均300.8人／月、11.7人／日）
安定経営とサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関との連携による新規利用者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ◆新規利用者：総合事業13名 介護保険7名 ○ 年末臨時入浴サービス <ul style="list-style-type: none"> ◆12/29 機械浴のみ 2名 ◆1/4 臨時利用 2名 ◆1/6 臨時利用 1名
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> ◆ストマー研修、感染症・食中毒研修、福祉職員新任生涯研修 ○ 自主研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ポジショニング研修、特殊浴槽研修、救命救急研修 ◆定例ミーティングにて、介護保険制度や身体メンテナンス等の研修
設備整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特殊浴槽の更新（11/27設置） <ul style="list-style-type: none"> ◆機器選定 9/25 導入施設への視察 ※障がいサービス利用者の利用を推進
経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経費節減対策の検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆布団レンタル数の見直し ◆飲み物選択の見直し ◆介護用品の節約

● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
要 支 援（事業対象者）	1,740	1,834	1,607	※1,729	1,311
要 介 護	4,124	4,024	4,149	※4,081	2,299
合 計	5,864	5,858	5,756	※5,810	3,610

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 4月での1カ月当たりの利用者228人から、3月には365人に増加。今後、平均利用者数を18人/日、468人/月を確保することを目標とする。
- 日曜日を一時休業としているが、利用者のニーズを伺いながら営業再開を目標とする。そのためにも、介護職員1.5人の確保に努める。
- 特殊浴槽の整備が整った利点を生かし、利用者確保に努めたい。
- 総合事業から要介護へ移行する利用者が増えたが、サービスの質を低下させないように努めていく。
- 年末年始入浴サービスに、機械浴だけでなく、一般浴についても受け入れを検討したい。

【3】 デイサービスセンターみさか

利用者と介護者の希望に応じたサービス提供に努めました。

項 目	事 業 結 果 ・ 内 容
事業実績	○ 開設日数 257日（年末年始を除く月～金曜日） ○ 年度末契約者数 46人（要介護34人、総合事業12人） ○ 延べ利用者数 4,113人（平均342.8人／月、16.0人／日）
日常生活支援事業の取り組み	○行政及びケアマネ等と連携を密にし、速やかな移行と新規利用者の受け入れに努めた
新規利用者の確保	○ 新規利用者 13人（八坂地区8人 大町地区5人）
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施（12月30日 利用者16人）
芸能ボランティア等の受入れ	○ 四季を通じボランティア等の受け入れ・外出による現地見学の実施 ◆読み聞かせ 12回/月 ◆音楽療法 12回/年 ◆歌謡・踊り・手品・大正琴等 11回/年 ◆園児・児童・生徒との交流活動 6回/年

● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
要 支 援	718	740	695	※857	768
要 介 護	3,724	3,451	3,127	※3,588	3,345
合 計	4,442	4,191	3,822	※4,445	4,113

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 利用回数が多く介護度の高い方が、2月・3月は施設入所・入院・ショートステイ利用への移行もあり、利用者の減少がみられたが年間利用者数は増となった。
（対前々年度比：108%）
- 要介護、要支援を含め、通院や家族都合による利用変更など利用者ニーズに応じた柔軟な対応に努めた。
- 引き続き経費削減に努めるとともに、新規利用者の確保に努め、職員含め利用者の感染予防の徹底とサービス向上に努める。
- 今後も一人暮らしの方が増える傾向にあり、在宅で安心してくらせるよう利用者支援に努める。

【4】 デイサービスセンターみあさ

心身機能の維持・向上のため個別に機能訓練などを積極的に取り入れ維持向上に努めました。

項 目	事 業 結 果 ・ 内 容
事業実績	○ 開設日数 257日（年末年始を除く月～金曜日） ○ 年度末契約者数 46人（要介護 34人、総合事業12人） ○ 延べ利用者数 4,851人（平均404.3人／月、18.9人／日）
利用者ニーズに応じたサービスの提供	○ 通院等による曜日変更や臨時利用などに柔軟に対応 ○ 利用者の体調管理を主治医、訪問看護師、ケアマネージャーと連携し迅速に対応
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施 ◆年末年始(12/30：15人 1/3：16人)
入浴設備の活用	○ 利用者の身体状態に合わせた安心・安全な特浴とリハビリ浴を活用 ◆ 特浴利用者数 平均12人／月
新規利用者の確保	○ 新規利用者 10人（美麻地区 7人 他地区 3人）

● 延べ利用者数の推移

(単位:人)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
要 支 援	723	598	807	※928	839
要 介 護	3,433	3,558	3,770	※4,398	4,012
合 計	4,156	4,156	4,577	※5,326	4,851

※13カ月実績

【評価と展望】

- 利用者や家族のニーズに合ったサービス提供に心がけ、日々の観察をより重視し情報を職員同士で共有することで、迅速に医療機関や関係機関との連携し対応することができた。
- 利用回数の多い方の冬期のショートステイが多かったため、この期間利用人数が減少したが、通年すると前々年度対比で増加となった。
- 引き続き、個別に機能訓練など実施し心身機能の維持・向上を図りたい。
- 特殊浴槽の利用者が多いが、設備の経年劣化により不具合が生じていることから、継続して使用できるよう早めの設備が必要となっている。

3. 障がい者福祉の推進

個々の能力を活かし、その人らしい豊かな地域生活が送れるように多様な福祉サービスを提供しました。また、地域で支える住民に障がいへの理解を促す啓発活動の推進に努めました。

(1) 障がい理解促進事業

講座の開催や講師派遣、交流をとおして障がい福祉への理解の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
障がい者理解促進講座	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お出かけボランティア養成講座」を開講 ◆実習体験① (サマーチャレンジボランティア合同実施) 8月1日 8名参加 協力事業所 ばいはるちゃんみとろ(トマト収穫作業とカレー作り) ◆講座第1回(8月8日 5名参加) ・障がいの基礎知識(講師:障害児童係 桑澤) ・車いす体験(講師:地域福祉係 田辺、高橋) ◆講座第2回(8月19日 5名参加) ・信州あいサポーター養成講座(講師:信州あいサポート推進員 馬場氏) ◆実習体験②(9月11日 3名参加) 協力事業所 共同作業所がんばりやさん

【評価と展望】

- 民生児童委員にも声掛けし、研修の機会として参加いただいた。
- 屋外での車いす体験をしたことで、希望の旅への付き添いとしてより現実的な体験をしていただくことができた。

(2) 障がい者余暇活動支援事業

イベントの企画・運営、情報発信により、障がい者の社会参加の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
希望の旅	<ul style="list-style-type: none"> ○ リフト付き大型バス1台運行で企画・募集し、実施 ◆ 実施日 10月3日 ◆ 行き先 群馬サファリパーク ◆ 参加者内訳 参加者35人（内訳：身体10人、療育4人、精神4人、付添家族6人、支援ボランティア7人、職員4人）
いっぽの会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「クリスマス会」12月20日（6人） ○ その他11企画 延参加人数 88人 ◆ 4/26（10人）、5/24（8人）、6/28（4人）、7/26（10人） 8/30（8人）、9/27（6人）、10/25（7人）、11/22（6人）、 1/24（6人）、2/27（8人）、3/27（8人）

● 障がい児・者希望の旅事業参加者数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
参加者数（人）	44	44	41	48	35

【評価と展望】

- 障がい理解促進講座開催の結果、今年度も含め多くの講座受講生がボランティアとして参加し、障がいへの理解促進につながった。
- より多くの方に参加いただけるような内容を検討していく。



希望の旅（10/3）群馬サファリパーク

（３）障がい者就業支援事業

地域で安心して働くことができるよう障がい者と事業所等、双方に情報提供を行い、就業に必要な訓練・実習など支援し、社会参加の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
障がい者就業・生活支援センターとの連携	○ 地域で安心して働くことができるように、同じフロアに席を置く「障がい者就業・生活支援センター」と双方に情報提供を行い、就業に向けた支援を行いました

（４）地域生活支援事業

保健・医療・地域の支え合い活動などと連携し、相談支援サービスならびに、障害福祉サービス利用にあたっては利用計画を作成しました。

【１】障害福祉サービス計画支援事業

障害福祉サービスの計画的な利用について関係機関と連携しながら相談・計画支援にあたりました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 240日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 80人 ○ 延べ利用者数 247人（平均20.5人／月）
障害福祉サービス計画書の作成	○ 利用者等の心身状態・家庭環境等を把握し、在宅生活が継続できるサービス利用計画を作成 ○ 計画作成者には、定期的なアセスメント・モニタリングを実施
関係機関等との連携強化	○ サービス事業者や関係機関との連携による利用者への支援体制の強化 ◆ 関係者会議、事業所見学同行の実施 ◆ 自立支援協議会・サービス相談支援部会への参加
専門職の資質・技術の向上	○ 研修等への参加による情報・知識の習得、ケアマネジメント技術の向上

● 計画作成・モニタリング件数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
計画作成件数（件）	30	33	57	※64	63
モニタリング件数（件）	91	76	116	※167	184

※13 カ月実績

【評価と展望】

- 個々の状態に合わせたサービス計画内容の検証を重要視して、単一的な計画にならないように心掛けた。
- きめ細やかな支援実施を目標に、関係者との支援チームの構築に努めたい。

【2】大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット）

障がい者や家族等からの相談に応じ、必要となる情報の提供や援助を行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 240日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 454人 ○ 延べ利用者数 1,415人（117人／月）
管内町村へ出張相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひきこもり等相談会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 池田町3回、松川村5回、白馬村2回 ◆ 延べ相談件数：12人
ピアカウンセラー・ペアレントメンターによる相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいのある相談員や障がいのある子どもを育てている親が、対等な立場で話を聞き、その経験を生かした相談支援を実施 ◆ペアレント・メンター相談会 8回開催
発達障がい者の当事者会の開催（カラフルの会）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達障がいの診断を受けている、おおむね高校卒業以上の方の当事者会を開催した ○ 目的は、①参加者同士の悩みの共有・共感②社会生活上の情報交換③興味や関心が同じ仲間との出会い④リラックスして楽しめる集い ◆開催日（参加者数） <ul style="list-style-type: none"> ・4月13日（5人） ・7月21日（5人） ・10月21日（4人） ・1月19日（7人） ◆会場 いずれも大町市総合福祉センター
一般相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神病院、障害者支援施設等から地域へ戻る希望のある方に対して地域の情報提供や各種体験を実施して安心して生活ができるよう支援 ○ 実績 定着支援2件／月
当事者団体等支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援協議会当事者部会の活動の中で、困りごとに対して助言を実施 ○ 団体からの要望により勉強会へ講師を派遣 オルカの輪
自立支援協議会の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体会と各専門部会を組織し、共通の目的に向けた情報の共有と関係者によるネットワークを構築 ○ 勉強会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆開催日 11月2日（土） ◆会場 大町合同庁舎 講堂 ◆テーマ 「ともに生きるとともに創る地域を目指して」 ◆参加者 64名

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
延べ利用者数（人）	5,327	4,770	5,143	1,269	1,311

【評価と展望】

- 課題となる困難事例が増加している。多職種との連携・情報共有が必要となっている。
- 基幹相談支援センターの業務として、障害福祉サービス事業所及び相談支援事業所への支援の強化に努めたい。

【3】発達障がいサポート・マネージャー事業

発達障がい者を直接支援している方々に、より専門的な支援を実施していただけるようアイデア提供や専門家への橋渡しを行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 240日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 89人（単年度登録者数） ○ 延べ利用者数 622人（平均51.8人／月） ○ 個別支援以外の会議等への出席など 延べ 213回（平均17.7回／月）
個別のケースにかかわる活動	○ 本人やご家族、支援者に相談・連携・打ち合わせ・支援会議・医療紹介・同行受診・電話相談などを実施
個別支援以外の活動	○ 研修会・連絡会議・講師・長野県発達障がい支援対策協議会 協力部会員（自立・就業部会、診療体制部会）・自立支援協議会（県、圏域）・自立支援協議会事務局・池田町子育て支援ネットワーク委員・大北圏域発達障がい診療地域連携病院連絡会・大町病院での信州大学本田秀夫先生の事例検討会の開催協力・当事者の会（いっぽの会、カラフルの会）
学校巡回相談	○ 圏域内の中学校8校、高等学校3校、圏域外3校（圏域出身者対象）へ年間最低2回ずつ巡回訪問し、環境調整や対応方法など情報交換や助言をした進路について等は移行支援を検討し、就業支援ワーカーなどとの連携を実施（個別支援は別途対応）

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
個別の相談 延べ利用者（人）	311	368	448	561	622
30 年度登録者数 （人）	73	69	79	102	89
個別以外の支援 開催延べ数（回）	224	236	245	208	213

【評価と展望】

- サポート・マネージャー配置から6年目となり、業務内容について周りから理解されるようになってきた。
- 学校から連携を求められるケースが増え、進路なども、外部と連携して相談を進めることが多くなってきている。困難ケースの解決のための連携（警察や児童相談所、病院等）も増加した。
- 自ら発達障がいを疑い、支援を求めてくる成人期以降のケースも増加。ひきこもりのケースも含め、青年期・成人期の支援体制作りが今後必要となる。携わっている職員も増え、ケースも手法も多様となっている。相談は長期化するが本人の変化は乏しいことから、関係者の連携が必要。大町保健所に協力して関係者会議を持ち、連携や情報交換を行った。
- 当事者の会（カラフルの会）年間4回開催。延べ参加者数は21人（平均5人/日）。就労の事、家族との思いで、一人でいるときの思い、長期休暇の過ごし方、余暇の事などテーマを出し合い、意見を交わした。

【4】 障害者地域活動支援センター事業（ハーモニー・ルーム）

講座を通して仲間づくりをし、在宅生活の意欲向上につながる講座作りに努めました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 215日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） （※11-2月 代替職員による運営 稼働制限） ○ 契約者数 37人 ○ 延べ利用者数 1,361人（平均113人／月、6.3人／日）
多種講座型 実施の内容	○ 利用者の希望を取り入れた講座を企画し、生きがいや潤いのある生活を支援。（年間20講座） ◆講座内容 絵画、ちぎり絵、アレンジメント・フラワー、絵手紙、カーレット、ボッチャ、大人のぬり絵、機能訓練、童謡唱歌、陶芸、自由創作、はた織、紙粘土、料理、草木染、カラオケ、押し花、革細工、トールペイント、外出（美術館、映画鑑賞、公園等）
健康づくりのための 講座開催	○ 上下肢筋力低下予防等のための機能訓練講座（1回/月） ○ カーレット、ボッチャ（各1回/月）
地域との結びつき を重視したサービ スの提供	○ ハーモニー展を開催、活動の紹介（社協エントランスホール） ○ 大町市文化祭に出展（34作品）、見学 ○ 県障がい者展に出品、見学

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
延べ利用者数（人）	1,695	1,294	1,478	※1,829	1,361

※13 カ月実績

【評価と展望】
○ 常勤職員 2 名の退職により、11 月から代替え職員 3 名にて運営。利用者への不利益を最小限に留めるよう事業を継続した。
○ 講座の企画は、利用者の高齢化に伴い心身状態に合わせた運営が必要となる。健康の維持増進、介護予防を含めた生きがい作りを目的とした講座利用を推進したい。

【5】 障がい者等生活支援事業

① 移動支援サービス

通院や余暇活動等、希望に応じた支援を実施しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 366日 ○ 契約者数 4人 ○ 延べ利用時間数 180時間（平均15時間/月）
外出時の支援	○ 通院やスポーツクラブ参加等への外出介助を実施
関係機関との連携	○ 行政他、サービス事業所との連携

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
延べ利用時間数（時間）	71	94	182	※156	180

※13 カ月実績

【評価と展望】

○ 支援内容は主に通院、買い物等。これは所要時間や頻度の定めが難しいサービスとなっている。その都度、同行職員の調整を要するが、可能な限りニーズに応じた支援の提供に努めたい。

② 日中一時支援事業

障がい児や家族の日中活動を支援しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	稼働なし
1対1対応の支援	○ 利用者1人にサポーター1名 ひまわりの家にて実施

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
延べ利用時間数（時間）	467	325	161	68	0

【評価と展望】

○ ニーズに応じ、サービス内容を検討し実施していく。

（５）障がい福祉サービス事業

個々の環境に応じた自立した在宅生活に求められる能力を引き出せるよう、保健、医療、地域の支え合い活動等と連携しながら、各種障がい福祉サービスを提供しました。

【１】 障がい者居宅介護事業

住み慣れた自宅で自立した生活が送れるようにサービスを提供しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 366日 ○ 平均契約者数 26人/月 ○ 延べ訪問時間数 4,626時間（平均385.75時間/月）
職員の資質向上	○障がいの特性の理解を深める内部研修の実施
関係機関との連携	○ 利用者や家族、計画相談員、市福祉課等と連携し、支援方向を検討

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
延べ訪問時間数（時間）	6,964	6,470	5,810	※5,150	4,629

※13 カ月実績

【評価と展望】

○ 訪問時間の減少は、高齢、ADLの低下に伴う介護保険への移行や、長期入院者の発生によるもの。今後とも、残存機能の低下を招かない支援提供に重点を置き、計画相談員と密な連携調整に心がけ、ニーズに応じた支援に努めたい。

【2】多機能型障害福祉サービス事業

生活介護・就労支援を提供し、心身の維持と発達の可能性を図れる実践に努めました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 254日(年末年始・祝日を除く月～金曜日*休日販売会含む) ○ 年度末登録者数 56人(生活介護19人、就労支援37人) ○ 延べ利用者数 8,629人(平均719人/月、33人/日) <ul style="list-style-type: none"> ◆ ひまわりの家 6,422人(平均535人/月、26人/日) ◆ すずらん 1,455人(平均121人/月、6人/日) ◆ たんぽぽ 752人(平均 62人/月、3人/日)
就労からの発達保障と工賃向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークショップ(間伐材)を開催。利用者の新たな能力発揮に繋がる ○ 施設外就労(葡萄農園)は利用者の作業として定着してきた
生活経験からの発達保障	<ul style="list-style-type: none"> ○ リハビリ体操、ピラティス活動は運動機能の維持と日常の支援にも生かした ○ 四季を通じた外出、余暇、レクリエーション活動を利用者の状況に合わせ実施し、利用者間の対人関係の構築や支援の充実に繋げた
障がい啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期販売会ザビック大町店(毎月第3木曜日 大北地域6事業所合同) ○ 地域イベント販売会への出店(年間23会場)
在宅生活継続支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神障がい者当事者が集える「いこい」、ご家族が集える「福寿草の会」を毎月1回開催。ボランティアや精神コーディネーターとの情報共有の場ともなった

● 延べ利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
就労継続支援B型(人)	4,703	5,101	5,608	※6,450	5,401
生活介護(人)	3,546	3,795	3,773	※3,731	3,228
合計(人)	8,249	8,896	9,381	10,181	8,629

※13カ月実績

● 利用区分別年度末契約者数 (単位：人)

	生活介護(障害支援区分)						就労継続 支援B型	合 計
	1	2	3	4	5	6		
ひまわりの家	0	2	3	4	2	2	24	37
たんぽぽ	0	0	0	1	2	3	—	6
すずらん	—	—	—	—	—	—	13	13
合計	0	2	3	5	4	5	37	56

【評価と展望】

(就労B型ひまわり、すずらん)

- 新規作業を導入し、作業の幅(品目)は広がったが、受注量減少傾向の業者もあり、工賃の維持と向上への取り組みが、さらに必要となる。
- 高齢による介護保険への移行1名、併用利用2名、他事業所併用利用4名(社会経験を広げる目的)となった。今後、同様なサービス調整と個別支援がさらに見込まれる。

(生活介護たんぽぽ)

- 利用者は重度心身障がい者。稼働は少ないが利用者は定着している。ADLの維持と生活の質の向上のため、個々の心身状態に合わせた日中活動の見直しを進めたい。

4. 子育て支援活動の推進

安心して子どもを産み育てるためには、子どもの成長に応じた支援の提供と継続的な支援体制が必要です。現在市内にはどのような子育てに関する課題があり、どのような支援体制が望まれているのか、市内子育て支援団体との連携を深めることに努めました。

(1) 子育て応援ネットワーク事業

子育て支援関係者との相互連携により、課題や資源の情報共有の場づくりに努めました。

項 目	実施内容・結果
子育て支援関係者ネットワークへの参加	<p>◆ 北アルプス地域子ども応援プラットホームへの参加 北アルプス地域振興局呼びかけにより平成29年度末にスタート。情報交換や地域の課題を把握し、子どもの居場所「信州こどもカフェ」開設を目指し活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会や研修会への参加 ・市内の子供の居場所を訪問 ・地域で子どもを育てるプロジェクト～信州こどもカフェ運営支援助成～の受付 <p>◆ 市内住民の取り組み支援 子どもの長期休みの期間で地域での居場所づくりや交流の場づくりの支援を実施 (支援地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美麻地区 みあさの森 ・神栄町 大人と子どもがつながる食堂 ・八坂 さくらさくらカフェ

【評価と展望】

- 長期休みの子ども達の居場所づくりを中心に、多様な子どもの居場所が生まれた。
- 信州こどもカフェは、県社協から助成金が交付されるが、市社協として申請や立ち上げの支援を実施していく。

(2) 育児支援ヘルパー派遣事業（訪問介護事業所）

産前産後の心身不調等で支援を必要とする家庭に、サービス提供を行います。

項 目	実施結果・内容
育児支援ヘルパー派遣	<p>○ 稼働日数 15日（年末年始除く月～金曜日）</p> <p>◆ 2件</p>

【評価と展望】

- 前年度からの継続支援1件に加え、出産後必要時の支援として新規1件を実施した。
- 産前産後の不安を軽減することが支援の目的。妊産婦の心身状況を考慮し、希望に応じた支援を提供する上で、保健師とのサービス調整を図ることが重要となる。情報共有しながら支援を行いたい。

(3) 療育支援事業（スクラム・ネット）

障がい児及び障がい傾向のある児童に早期発見と療育支援を行うことで、穏やかな生活が送れるよう助言・指導・相談支援を行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 240日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 対応人数 障がい児者 244人 家族 195人 （実人数） ○ 支援方法別・障害種別相談延べ件数 1,257件（平均104件/月） ○ 支援内容別延べ相談件数 1,312人（平均109件/月）
障がい児等療育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問療育等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 指導班を構成する巡回等相談、健康診査等支援（286回実施） 5歳児相談、PT・CP巡回、PT巡回、心理アセスメント 等 ○ 在宅外来療育等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 配置された場所における相談・指導（47回実施） 来所相談、電電話相談等 ○ 施設支援一般指導事業 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 関係機関の職員に対する相談・指導（202回実施） 保育園、学校、事業所等への巡回相談 ○ 市町村発達障がい者支援体制強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 圏域自立支援協議会事務局、普及啓発研修会、市町村発達支援事業への協力（就学相談 等）
児童発達支援巡回相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大町市及び白馬村の巡回相談及び指導

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
訪問療育等支援事業（件）	739	511	586	574	1,133
在宅外来療育等事業（件）	669	458	430	590	164
施設支援一般指導事業（人）	1,284	1,051	1,761	2,015	780
相 談 件 数 （件）	2,281	2,106	2,547	2,186	1,312

【評価と展望】

- 母子保健事業と保育園との情報共有、連携について市町村保健師等の協力をいただき、継続的な支援が行えるようになっている。
- 3歳未満児からの保育園入所者数の増加に伴い、市町村母子保健事業フォローアップへの利用数が減少傾向にある。次年度はPT・CP巡回をすべての保育園で実施したい。
- こども支援部会で療育支援専門員の業務契約及び調整機能のワーキングを開催。業務の優先順位や各機関の役割等を整理しつつある。早期支援のシステム作りと円滑な運営には、障がい児支援（療育）の強化、量と質の確保を図ることが求められる。療育支援専門員を公平かつ有効活用し、地域ごとのシステムの再編・拡充・整備に繋げることが期待される。
- アウトリーチでの相談体制（保育所等訪問支援、障がい児相談支援、障がい児等療育支援事業、市町村地域生活支援事業における相談支援等）については「対象・内容・利用方法・特徴」について地域での共通理解を図りたい。

5. 経済的支援活動の推進

不安定な収入などにより経済的に困っている人が生活意欲を取り戻せるよう、一時的な資金の貸付と生活相談や就労相談を行いました。

また、火災や自然災害等で被災した世帯への当面の生活確保に必要な支援体制を整え、経済的支援活動の推進に努めました。

(1) 生活困窮者等自立支援事業

経済的に困っている人からの相談に応じ、継続的な生活支援や就労支援等を行い、関係機関と連携しながら経済的自立・社会的自立の促進を図りました。

(長野県社会福祉協議会が大町市総合福祉センター内で実施)

項 目	実施内容・結果
自立相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開設日数 240日(年末年始・祝日を除く月～金曜日) ○ 新規相談者数 81人 ○ 自立支援プラン作成人数 55人 ○ 延べ支援回数 792件(平均65.8件/月) ○ 支援調整会議を開催(毎月1回及び随時) <ul style="list-style-type: none"> ◆ 参集対象 県・市福祉事務所、ハローワーク、その他関係機関 ◆ 内 容 自立支援プランの適否の協議、プラン終結評価等 ○ あんしん創造ねっと(長野県内社協公益事業) <ul style="list-style-type: none"> ◆ 県住入居に伴う入居保証支援契約 16件 ○ 食糧支援 <ul style="list-style-type: none"> ◆ ななせ仲まち園 9件 ◆ 大町市社協フードボラ 57件
大北地域連絡会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大北地域連絡会に職員出席 ◆ 生活就労センター大北地域連絡会(1月16日)

● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
新規相談者数(人)	106	95	64	80	81
自立支援プラン(人)	53	46	30	46	55

● 市町村別相談者数

(単位:人)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合計
44	13	18	5	0	1	81

● 市町村別延べ支援件数

(単位:件)

大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合計
324	228	193	23	1	23	792

【評価と展望】

- 多様で複合的な課題が多く、相談者の生活状況の把握が難しい。
- 中高年の引きこもり、介護離職、多重債務、ギャンブル依存に対しては、就労支援とともに家計支援を図る。
- 県、市町村行政、地域包括、ハローワーク、スクラム・ネット、まいさぼ出張所等関係機関との一層の連携が必要である。
- 相談支援について、1回の相談で改善できるものは無く、回数を重ねて支援していくため、相談件数が増えると支援回数も増えるため、2名体制では支援が間に合わない。

(2) 家計改善支援事業

相談者とともに家計再生プランを作成し、定期的な面談と必要に応じた公的機関の利用支援等を行い、自らが家計を管理できるように、関係機関と連携しながら自立の促進を図りました。

項 目	実施内容・結果
家計相談支援事業	○ 開設日数 240日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）
	○ 相談者数 延べ42人
	○ 新規相談者 17人
	○ 実相談者数 24人
	○ 家計再生プラン作成数 1件

● 実績数値の推移（平成30年度より事業を実施）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
相談者数（人）	—	—	—	29	42
家計支援プラン（人）	—	—	—	3	1

【評価と展望】

- 相談者は、高齢者の割合が多く全体の40%。
- 継続的な面談や支援により、他のサービスや相談機関へつなげることで、生活が安定した。
- 1つ1つの困りごとに合わせて、自立相談機関等の関係機関と連携し、家計の見直しをすすめ解決していく。

(3) 資金貸付事業（小口資金・生活福祉資金）

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等に対し、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付と生活相談を実施しました。

項 目	実施内容・結果
関係機関と連携した自立支援の推進	○ 貸付相談の内容に応じ、まいさぼ大町、家計相談支援員、行政やハローワーク等関係機関と連携
定期的な訪問による償還指導	○ 小口資金の借受人宅訪問や電話等による償還指導を実施 ○ 県社協と連携し、生活福祉資金の長期滞納者を訪問し、償還指導を実施
償還依頼通知発送	○ 小口資金貸付金の償還依頼通知を年2回発送
滞納整理、返済不能貸付金の欠損処分等	○ 小口資金欠損処分 2件 ○ 生活福祉資金長期滞納者の生活状況等を調査し、県社協に提出 償還免除 5件

● 生活福祉資金貸付状況（令和元年度中）

資金種別		貸付申請		貸付決定		年度末貸付金残高		完済 件数
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
小口資金（大町市社協）		8	511,000	8	511,000	12	842,543	5
生活福祉資金 （県社協）	総合支援資金					2	1,203,145	3
	緊急小口資金	5	700,000	5	700,000	11	1,239,580	1
	教育支援資金					10	4,610,125	4
	福祉資金					8	10,690,505	1
	合 計	5	700,000	5	700,000	31	17,743,355	9

※年度末貸付金残高には利子・延滞利子を含む

※完済件数には欠損処分及び延滞利子減免件数を含む ※離職者支援資金は総合支援資金を含む

● 貸付決定件数の推移 (単位：件)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
小口資金	13	9	4	1	8
生活福祉資金	5	1	0	0	5

● 年度末貸付金残高（元金）の推移 (単位：円)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
小口資金	1,200,204	1,023,400	550,900	397,000	551,000
生活福祉資金	15,020,880	14,297,782	13,119,156	11,751,658	10,608,807

【評価と展望】

- 本年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、緊急小口資金の特例貸付が始まり、相談により、県社協に申請し貸付を行った。
- 小口資金では、初回給料日までの生活費及び転居費用等として、貸付を行った。
- 長期滞納者への償還指導において、訪問しても不在が多い。滞納が長期化する前の償還指導を実施していく。
- 県社協やまいさば大町、家計改善支援事業等関係機関との連携を強化し、相談支援体制を整えていく。

(4) 災害見舞金等支給事業

被災した市民または遺族に対し、行政等と連携し援護物資や各種見舞金を支給しました。

項 目	実施結果・内容
被災者からの要請による援護物資（寝具一式）の支給	○ 被災者からの要請による寝具一式支給（1件・5組）
被災した会員への災害見舞金の支給	○ 被災状況に応じた災害見舞金の支給 ◆住宅火災 全焼 1件（10,000円）
被災世帯への県共同募金会災害援護金の支給	○ 被災状況に応じた災害援護金の支給 ◆住宅火災 全焼 見舞金 1件（10,000円）
交通・災害事故の遺児等の把握と県社協への見舞金申請・支給手続き	○ 交通・災害事故の遺児見舞金の支給 ◆実績なし

● 災害見舞金等支給実績の推移（大町市社協予算で支給したもののみ計上）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
寝具支給数（組）	4	0	2	3	5
見舞金支給数（世帯）	2	0	3	3	1
見舞金支給額（円）	13,000	0	23,000	60,000	20,000

【評価と展望】

- 行政と調整をしながら、迅速かつ適切に対応できるように努めた。

Ⅳ 受け継がれるまちづくり

地域福祉活動を継続的に展開するため、住民の福祉意識の高揚と担い手の育成に努めました。

1. 地域における福祉意識の啓発

広報紙等による福祉情報の発信や社会福祉功労者の表彰、市民からの福祉啓発標語の募集を通して、地域福祉の意識啓発に努めました。

(1) 福祉情報発信事業

広報紙やホームページを活用し、地域福祉に関する情報発信に努めました。

項 目	実施内容・結果
広報紙「社協おおまち」の発行	○ 地域の住民活動に焦点をあてた記事を中心に掲載 ◆ 年6回（偶数月1日）発行（全戸配布9,200部 詳細別記）
ホームページの充実と活用	○ 各広報紙のほか、各種講座の募集やお知らせなど、タイムリーな記事を掲載

●広報紙「社協おおまち」の発行内容

号数	発行日	主な内容
199号	4月1日	野口花見お料理教室（表紙）/共募事業「ミニあそびり」/法人会員お礼/歌声の集いのご紹介/ボランティアリーダー研修/社協の講座/一般会費のお願い/子どもの居場所づくり
200号	6月1日	子どもたちの居場所（表紙）/令和元年事業計画・予算/コアラのぼけ/保育サポーター養成講座/成年後見無料相談会案内/市民ふれあい広場/やまびこまつり
201号	8月1日	ローズウォーキング（表紙）/ウォーキング de 地域がつながる/H30決算・事業報告/社協新役員紹介/地域の雪かき支援について/大北ボランティアフォーラム/赤い羽根助成金申請団体募集
202号	10月1日	災害サポーター養成講座（表紙）/お出かけボランティア講座/子育て応援/赤い羽根共同募金/市民ふれあい広場ほか
203号	12月1日	南原町育成会～綿でものづくり～（表紙）/ミニふれあい広場/台風19号被災地/大町市食生活改善推進協議会料理講習会/子ども食堂さくらさくらカフェ/特別会費のお礼/大町市社会福祉大会のお知らせ
204号	2月1日	ミニふれあい広場（表紙）/アクティブシニアの井戸端会議/2019年から2020年へ/雪かき支援員/共募大口募金者名簿/ボランティアリーダー研修会のお知らせ

【評価と展望】

- 広報紙については、「地域のつながり」をテーマに地域の活動やタイムリーな記事掲載に努めた。地域福祉活動の啓発はもとより、地域が元気になるような内容の記事を掲載していきたい。
- 特集「アクティブシニア井戸端会議」では、活躍されているシニア世代のご意見をいただくことができ、今後の参考にさせていただきたい。

(2) 地域福祉意識啓発事業

社会福祉功労者の表彰や福祉啓発標語の募集を通して、地域住民の福祉意識の啓発に努めた。

項 目	実施結果・内容
大町市社会福祉大会の開催	○開催日 令和2年2月1日 ○場 所 サン・アルプス大町 参加者 180 人 ○内 容 ・表彰 社会福祉功労者表彰 福祉啓発標語最優秀者表彰 ・アトラクション 共同作業所の仲間たちコンサート ～みんなの和・種をまこう～ ・講演 「住民が地域に福祉をつくる」 ～地域における新たな支え合い～ 講師 小林博明 氏 (まちの縁側育みプロジェクトながの代表)
社会福祉功労者表彰	○ 大町市社会福祉大会において、社会福祉功労者を実施(詳細別記)
福祉啓発標語の募集と入選作品の表彰	○ 市内各校及びボランティアニュースで啓発標語の募集を行い、選考委員会で入選作品を選考 ◆ 募集時期 10～12月 ◆ 募集部門 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高等学校、一般 ◆ 応募総数 350点 ◆ 選考結果 入選作品34点(最優秀6、優秀8、佳作20) ○ 大町市社会福祉大会で最優秀賞の表彰を実施 ○ 入選作品をイベントや市総合福祉センター内で展示、ボランティアニュースや各種会議資料に掲載

● 表彰者数(個人9人)

区 分	表彰基準	表彰者数
表 彰	本会会長・監事	2 人
	保護司	1 人
	心配ごと相談員	1 人
	民生児童委員	4 人
	社会福祉事業団体役員	1 人

● 福祉啓発標語応募点数の推移

(単位:点)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
小学校低学年	95	116	49	45	151
小学校高学年	248	145	219	76	147
中 学 校	434	323	157	302	21
高 等 学 校	20	23	21	15	27
一 般	6	4	7	6	4
合 計	803	611	453	444	350

【評価と展望】

○ 福祉啓発標語では、小学校から一般まで、幅広い年代の方に取り組んでもらうことで、福祉への関心や関わりをもつきっかけとなっていることから、引き続き、福祉啓発標語募集を継続していく。また、今年度より、応募いただいた方全員に参加賞としてクリアファイルを配布し、福祉の意識啓発に努めた。

2. 地域の担い手育成

地域住民や子どもたちへの福祉教育の推進と、地域の助け合い活動につなげるための担い手育成に努めました。

(1) 福祉教育推進事業

地域や小中高等学校での出前福祉体験講座と相談支援活動を行った。

項 目	実施結果・内容
福祉教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社協事業を掲載した冊子を市内小中高校に配布し、事業説明と情報交換を実施 ○ 高齢者疑似体験、車いす体験、手話学習、点字学習、アイマスク体験、ボッチャ体験等の出前講座を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 7小学校（延べ15回）、2中学校（延べ4回）、1高校（延べ14回） ○ 物づくり指導、レクレーション指導、ボランティアセンター業務紹介等の出前講座を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 延べ8回（小地域福祉ネットワーク等）

【評価と展望】

- 継続的に取り組んで、全学年を通じて様々な体験を実施する学校も増え、地域や各小中高等学校に出向き、福祉体験講座を実施することで、きめ細やかな要望への対応や、地域の方との対話や連携の場につながった。
- 今後も地域や学校への出前体験講座を通じて、福祉教育の推進と啓発に努めていく。
- 障がい者スポーツのボッチャ体験や妊婦体験等の体験メニューの実施に努め、新たなニーズに対応できた。

(2) 生活支援体制整備推進事業（生活支援コーディネーター）

地域支え合い体制づくり協議会（第1層）との連携や、中部エリア（第2層）の運営をする中で、関係団体と連携しながら地域の連絡会を実施した。

項 目	実施結果・内容
大田市地域支え合い体制づくり協議会との連携	○地域包括支援センターの主催する協議会に参加し、地域の課題、活動内容を報告した
高齢者のニーズの把握とマッチング	<ul style="list-style-type: none"> ○包括支援センターやケアマネと同行訪問しニーズを把握し個別に対応 ○生活支援員派遣制度の利用者を対象に、生活ニーズ調査の実施し、結果を地域住民に報告し活動の可能性を広げた
地域課題や地域資源の見える化	○住民の集いや民間企業が関わる地域の社会資源を把握し、社協報を通じて地域に発信した
サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成	<ul style="list-style-type: none"> ○小地域福祉ネットワーク研修会（笑いヨガ） <ul style="list-style-type: none"> ◆地域でサロン活動や支え合い活動を展開しているネットワークや集いで情報提供や活動を呼び掛けた
中部エリア2層協議会の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○綿花を育てながら地域の支え合い活動や見守り活動の啓発を行った <ul style="list-style-type: none"> ◆活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・5月 幸せの種をまくための勉強会（5月10日） 市内企業と連携し綿花の種まき体験（5月13日） ・8月 きれいな綿花を楽しむための作戦会議（8月22日） ・8～9月 ことことコットンウォーキング（計3回実施）

項 目	実施結果・内容
中部エリア2層協議会の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・11月 綿の収穫 ・12月 ミニふれあい広場で活動を周知し、綿と種の仕分け作業 ・2月 わたdeものづくり～見守りアイテム作成会議～ ・3月 コットンサロンの計画（新型コロナにより中止）

【評価と展望】

- 地域の関係団体を訪問し、新たな支え合いの仕組みづくりについて普及啓発をした。
- 綿花を育てる中で、新たなつながりや見守りの仕組みが生まれ、多様な活動が期待できる。
- 高齢者の「自分らしい暮らし」を支える体制を、地域住民と一緒に考えながら進めていく。

3. 地域福祉活動団体の育成

市内で活動中の福祉団体に対する相談支援や助成金の交付を通して、各団体の育成を図りました。

（１）企業ボランティア育成事業

項 目	実施内容・結果
企業が行う地域貢献活動との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本会役員を始め、本会が事務局を担う共同募金委員会などに民間企業等の参画を得る中で、地域活動等に理解いただくよう努めた ○ 生活困窮の方の草刈りのニーズに対し、企業の社会貢献活動の支援を行った

【評価と展望】

- 今後も、地域にある具体的な課題を把握し、その課題を企業等へ発信するよう努める。

（２）地域福祉活動団体育成事業

項 目	実施内容・結果
地区社協への助成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区社協が行う活動に対し、社協会費・共同募金配分金を財源に助成金を交付（4月申請受け付け、5月交付決定、6月交付終了） ◆ 6地区社協 2,290,100円
ボランティア活動への助成	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア団体が行う活動に対し、5万円を限度に助成金を交付 ◆ 15団体 469,000円
ボランティア活動保険掛金助成	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア活動保険掛金の一部（Aプラン170円/人・Bプラン250円/人）を助成 ◆ Aプラン 241,400円 Bプラン 110,500円

●地区社協助成金交付実績

（単位：円）

地区名	地域交流事業	啓発活動事業	ネットワーク支援事業	合計
大町	301,520	60,480	573,900	935,900
平	100,000	100,000	167,500	367,500
常盤	197,000	0	180,000	377,000
社	167,000	0	169,700	336,700
八坂	60,000	10,000	50,000	120,000
美麻	143,000	0	30,000	153,000
合計	968,520	170,480	1,151,100	2,290,100

● ボランティア活動団体助成金交付実績（社協会費財源）（単位：円）

団体名	事業内容	助成額
安曇養護学校大町地区PTA	地域貢献活動（施設花植え等）	24,000
みあさの森	地域貢献活動（子育て支援）	50,000
大町市朗読グループかっこう	福祉教育啓発活動（朗読図書作成等）	10,000
大町点訳ほたるの会	福祉教育啓発活動（広報紙の点訳）	20,000
シニア大学常盤地区同窓会睦会	地域貢献活動（駅前草刈活動等）	20,000
要約筆記サークルおきあがりこぼし	学習研修活動（学習会）	6,000
賛助会大町グループ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	20,000
アルプスリンゴーズ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	40,000
ファミリーサポートバンビ	学習研修活動（子ども向け調理実習等）	35,000
ゆずり葉の会	地域貢献活動（高齢者交流会）	50,000
信州・大町山の子村 キャンプ実行委員会	地域貢献活動（子どもキャンプ）	50,000
スリーアールの会	地域貢献活動（不用食器の回収学習会）	35,000
ルンタの風	国際交流、地域貢献活動（広報紙の発行）	39,000
オルカの輪	学習研修活動（障がい支援）	20,000
おはなしの会「やしろ」	学習研修活動（学習会）	50,000
合 計（15団体）		469,000

【評価と展望】

- ボランティア活動団体への助成金交付により、地域貢献活動や学習研修活動等のボランティア活動の支援につながるとともに、今年度は、新たに子育て支援を行うボランティア団体への助成につながった。
- ボランティア基金を活用したボランティア活動保険掛金助成制度も定着し、継続してボランティア活動保険加入する人が増加している。



大町市内の地域活動